

# 公益財団法人とよなか国際交流協会

## 令和3（2021）年度事業報告について

### I. 事業報告 総論

#### 【1. はじめに】

新型コロナウイルスは今も感染拡大の勢いを弱めることなく、世界全体に大きな影響を与えています。公益財団法人とよなか国際交流協会（以下「協会」とする）でも、2020年1月から様々な取組を行って来ていますが、持続可能であるために何よりも力を入れて取り組まなければならない最大の課題になっています。

一方で日本社会の大きな課題である少子高齢化による人口減少、地域や産業界における人手不足は引き続き、大きな課題として残っています。オミクロン株の感染拡大により、外国人の新規入国は一旦停止したものの、外国人労働者や留学生などの新規受入れに向けた動きは再開しており、今後、外国人は再度増加することが見込まれます。

外国人受入れの実態に目を向けると、既に300万人近くの外国人が日本で暮らしています。豊中市でも6,000人近くの外国人が暮らしています。2021年度には、その実態を把握するため、豊中市と当協会が共同で事務局を務め、関係機関・団体と共に「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究（以下、「調査研究」という）」を行いました。その結果、地域で暮らす外国人が「情報が得られない」「仕事が減る・なくなる」「差別を受ける」「子育ての負担や不安が増す」「地域社会から孤立している」など、大きな影響を受けていることが明らかになりました。その課題の根っこにはコロナ感染拡大以前から続く、生活基盤の脆弱性があり、コロナによって不安定さが増幅したことが見えてきました。コロナ禍の中、仕事や生活の状況が厳しくなる人がいるからこそ、着実に情報やつながりを届け、居場所につなげることが求められます。外国人に対する偏見や差別が生じかねないからこそ、交流や学び合いの機会をなくすわけにはいきません。いつもと同じ形で活動ができないのであれば、活動形態や時間を変えながらも、誰一人取り残すことなく、外国人も希望を持って、安心して安全に暮らせる地域社会を創っていくことが求められています。

協会は、「市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、世界とつながる多文化共生社会をつくる」を基本理念としています。1993年の設立以来、とよなか国際交流センター（以下、センター）を拠点として、外国人市民の自立や社会参加に向けた総合的な外国人支援と多様な文化が認められる「ばづくり」や差異ある人々との共生のために行動できる「ひとづくり」を推進してきました。

ただ、ここまでの道のりは平坦ではありませんでした。特に2010年以降はセンターの移転（2010年度）、指定管理者制度の本格実施（2011年度）、公益法人への移行（2012年度）、20周年（ハタチ）記念事業及び指定管理者中間第三者評価（2013年度）、大阪府公益法人立入調査（2014年度）、第三期指定管理者応募（2015年度）、25周年記念本の出版、指定管理者中間第三者評価及び大阪府公益法人立入調査、大阪府北部地震、西日本豪雨、台風21号（2018年度）、新型コロナウイルスの感染拡大による災害時外国人多言語情報支援センターの設置（2019年度）、第四期指定管理者応募（2020年度）、空調設備の改修工事（2021～2022年度）など、様々な課題と向き合い、乗り越えてきました。

これまで様々な課題を乗り越えるために、職員・市民ボランティア・協会役員のそれぞれが持てる力を出し合い、より活力ある協会運営を目指してきました。特に役員・事務局が一体となって協会の安定的な運営体制の確立、市民・行政等関係機関とのつながり強化を行い、それらを基盤として「コロナ対応を通じたつながり作り」、「情報発信とアウトリーチ」、「相談事業とコミュニティとのつながり」、「ネットワーク」、「子ども・若者の居場所」「施設の安全・安心、新たな活用」「国際交流と多文化共生のハブ的役割」といったことを大事にしてきました。

今後もこれまでの経験、持っているネットワークや資源を活用し、柔軟な発想で多文化共生のまちづくりに取り組んでいきたいと思えます。

（\*2021年度は、センターの第四期〔2021～2025年度〕指定管理者期間の1年目でした。）

## 【2. コロナ対応を通じたつながり作り】

2021年度は新型コロナウイルスワクチン接種の予約受付、接種会場での多言語対応を行いました。のべ約800人がとよなか国際交流センターで接種を受けましたが、うち半分弱は初めてセンターを訪れた人でした。また、豊中市と共同で行った「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究」では、センターや協会の取組について知らない人が多いことが分かりました。これまでも一人でも多くの人に情報を届け、必要な支援につながるように心がけてきましたが、取り残されている外国人がたくさんいることが分かりました。とても大きな課題です。一方で、ワクチン接種や調査を通じて、センターや協会について知ったという人も多く、多くの人と新たにつながる事ができたのも事実です。「まだつながっていない人たちがたくさんいるが、やりようによっては多くの人とつながることができる」ということを信じ、試行錯誤、挑戦を続けていきたいと思えます。

## 【3. 情報発信とアウトリーチ】

2020年2月、豊中市との協定（豊中市災害時多言語支援センター設置に関する協定書。2017年2月28日締結）に基づき、市の要請を受け、災害時多言語情報支援センターを設置しました。それ以来、多言語での情報発信及び相談対応を行ってきました。特に、2020年4月からは豊中市が法務省「外国人受入環境整備交付金」を受け、それを基に協会での相談体制を拡充（実施曜日を追加）しています。また、2020年10月に始めた庄内公民館での南部日本語教室、オンラインでの日本語教室も継続して実施しています。2021年6月と12月には庄内で「くらしを守る総合相談会」を行い（共催：豊中市）、センターに足を運ぶことが困難な人々へのアウトリーチを行いました。年次報告書「こくりゅう@home2020」を作成し、各所に配布したほか、市の会議等でセンター及び協会の取組について説明を行ってきました。

一方で、2021年度は避難訓練、防災訓練などの実施を見合わせた地域も多かったため、地域の防災事業を通じた情報発信はできませんでした。また、ワクチン接種や調査、センターの空調設備の改修工事に伴う事業の運営方法の調整作業が予想以上に膨らみ、豊中市社会福祉協議会が実施する「地域福祉ネットワーク会議（全7地域）」、市の保健師会、豊中市民生・児童委員協議会等の場合は日程調整が難しい状況に陥り、参加して協会の取組について説明することができませんでした。また、「新春のつどい」も新型コロナの感染拡大状況を踏まえ、2020年度同様に開催を見送りました。依然としてコロナ禍の影響は大きく、例年に比べ、アウトリーチの機会は減りましたが、限られた機会をしっかりと生かし、協会・センターの知名度を高めることができました。

## 【4. 相談事業とコミュニティとのつながり】

相談事業は、多言語スタッフの配置曜日を増やし、拡充しました（豊中市が法務省「外国人受入環境整備交付金」を受け、それを基に相談体制を拡充しました）。新型コロナウイルスの感染拡大やそれによる失業、生活困窮などの相談件数はコロナ禍以前の3倍に増加しました。また、勝手に離婚され、本人も子どもも大きく人生を狂わされるという相談が頻発していることを問題視し、設置した「リコン・アラート（協議離婚問題研究会。事務局は当協会）」では引き続き、関係機関・団体と連携して協議離婚制度に関する問題点について、情報提供を続けました。2月には離婚に関する一日電話相談会を実施しました。

相談事業では他にも、多言語スタッフを中心にコミュニティ作りや日頃の相談対応から感じる課題の解決を目指して外国人向け講座やイベントを企画し、実施しました。新型コロナの感染拡大を防ぐため、活動内容は制限せざるを得ませんでした。その中でも工夫を行い、外国人の課題解決及び孤立を防ぐ取組を進めました。

外国人の孤立を防ぎ、地域社会の一員として安心して暮らせるように、また防災などの観点からも情報から漏れる人が出ないように、今後も相談事業の一環としてコミュニティ支援を進めていきます。

## 【5. ネットワーク】

2021年度はセンター登録グループ（19団体）との連絡会議はオンラインで行いました。密を確実に防ぐのは難しいという判断で「とよなか国際交流フェスタ 2021」の開催は見送りましたが、「登録グループ団体紹介ブックレット」を作成し、団体の活動成果の発信を行いました。地域の中間支援団体（5団体）とは情報交換、効果的な情報発信を行うため、継続的に情報交換を行いました。ESD とよなか連絡会議では参加団体と共に、コロナ禍での取組について情報交換を行ったほか、ESD とよなか連絡会議について発信する動画作成を行いました。府内で活動する国際交流協会と行政担当とのネットワーク「国際交流ネットワークおおさか」では、月1回程度の頻度

で会議を持ち、研修会を開催したほか、大阪弁護士会の協力で相談会を実施しました。府内で活動する外国にルーツを持つ子ども・若者の支援に携わっている団体が参加している子どもの夢応援ネットワークでは、オンラインで定期的な情報交換を行ったほか、大阪市教育委員会から依頼を受け、研修会の企画及び実施などを行いました。その他にも多様な団体との協働や連携によって、当協会が単独ではできない活動や支援を展開し、ネットワークで支援の輪を広げています。

## 【6. 子ども・若者の居場所】

現在の日本社会の大きな課題として子ども・若者の課題があります。ニートやひきこもり、ヤングケアラーとして浮遊する若者の課題は、外国にルーツを持ち日本で暮らす若者も例外ではありません。そのうえ、海外から日本への移動に伴う困難さもあります。外国にルーツを持つ子ども・若者を支援し、支えることは日本社会の将来につながる大きな社会課題の一つです。

当協会では2005年度から子ども母語、2006年度から学習支援サンプレイス、2013年度から若者支援事業を実施しており、安心できる居場所でピア（同じような状況の仲間）やロールモデルと出会い、つながること、そしてもともと持っていた力を取り戻し、元気になること（＝エンパワメント）を大切にしてきました。この事業は、持続可能な協会&センターの安定した運営につながると同時に、地域社会を支える貴重な財産となり、多文化共生社会の創生の礎になると確信しています。次年度も引き続き、関係機関とのネットワークを通して、次世代育成を通じた持続可能な共生社会作りに取り組みます。

## 【7. 施設の安全・安心、新たな活用】

コロナ禍において、外国人支援・多文化共生推進の拠点としての役割をどのように果たすか、豊中市とも頻繁に協議を行い、三密を回避し、安全・安心に利用してもらえよう努めてきました。緊急事態宣言中は貸室業務を停止し、来館での事業実施を制限するなどの対応をしました。

センターを利用した人は、CCスペース等を含めて年間27,225人(昨年と比べ7,507人減)、うち外国人(注)利用者は16,537人で全体の約48%を占めています。新型コロナウイルスの感染拡大や空調設備の改修工事等の影響もあり、年間のセンター利用者、貸室の件数とも減少しました。一方で、利用者数における外国人利用者の割合は、約48%であり、豊中市の外国人割合(国籍では約1.5%)と併せて考えると、外国人が積極的に利用している施設であり、目的公共施設としての役割を果たしていることが分かります。

11月から空調設備の改修工事により、使えるスペースが半減し、一般の貸室も停止していますが、センターが十分に使えない間も、他の市内公共施設と連携してとよなかシネコンを開催し、コロナ禍においても安全に人が公共施設に足を運び、社会課題について知る機会を設けました。

工事期間(2021年11月～2022年11月末)が終わってからは、多くの市民が足を運びやすいセンター、参加しやすいセンターを実現するため、ホームページ等を通じた情報発信、施設訪問者に対する掲示物等での情報発信を工夫します。今後も、施設の安全・安心をしっかりと確保しながら、地域の多文化共生を進めていきます。

## 【8. 国際交流と多文化共生のハブ的役割】

以上、見てきたように、協会はアウトリーチやネットワーク作りなどを進めながら、人権尊重を基調とした外国人の総合的支援と多文化共生社会の推進を担ってきました。2月下旬には各事業の市民ボランティアとともにAtoms振り返り会(全33事業を振り返る会)を行い、現在の課題や今後の事業展開につながる意見が出されました。多くの市民が多様な活動を支えており、それぞれの事業が相互関係にあることが改めて確認されました。

新型コロナウイルスの感染が広がり続ける中、さらに空調設備の改修工事でセンターの利用も制限される中、多文化共生のまちづくりをどう進めるか、試行錯誤が続きます。しかし、こういった大変な状況の中でも地域の多文化共生のあゆみを止めないために、何ができるかを粘り強く考え、ボランティア、関係機関等と対話を続け、できることを積み重ねてきました。日々の関係性を土台に、フットワーク軽く、状況を見ながら柔軟に判断し続けていく、また、その判断の是非についても対話を重ねていくことの重要性を強く実感した1年でした。

今後もこの経験を財産に「多様な文化や人が尊重される豊かで魅力あるまちづくり」の実現のために、より広範な支援活動と地域貢献活動を展開していきます。地域で長年活躍してこられた市民活動団体や市民の皆さんと共に「チームとよなか」の一員として、国際交流と多文化共生のハブ的役割を担っていきます。

注)協会では国籍だけでなく、外国にルーツを持つ人びとも含めて「外国人」と認識しています。

## Ⅱ. 事業概要

### Ⅱ-1 事業内容

市民の主体的な参加による人権尊重を基調とした多文化共生社会を創出するため、次の事業を行った。

### Ⅱ-2 内容の詳細

## I. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

### 1. 市民主体の国際交流活動推進事業

#### (1) 情報サービス事業

【趣旨】市民の国際交流活動が推進されるように環境整備を進める。

【内容】協会やセンターからのお知らせの発行（日本語及び多言語）、新聞・書籍・雑誌などの閲覧提供、コミュニケーションボードの設置、ウェブサイト・FacebookなどのSNS・メール配信システム等を利用した情報発信を行った。

【対象】国際交流に関心を持つ一般市民

【主な実績】協会及びセンターのウェブサイト運営（新型コロナに関する特設ページの開設）。多言語ニュースレターは2021年度より「とよなかしからのお知らせ」として毎月発行ならびにEメールでの配信、ホームページでの情報提供（日本語及び多言語）、Facebookでの多言語情報の発信、協会事業のメディアへの掲載、外国語図書ならびに民族衣装や教材貸出 他

#### (2) 市民活動協働事業

【趣旨】市民の国際交流活動が推進されるように環境整備を進める。

【内容】市民団体の活動支援のため、とよなか国際交流センター登録団体との情報交換を行った。登録団体と実行委員会を設けて実施している国際交流フェスタは開催を見送った。また、市民個人及び団体に対して随時相談に対応したほか、団体の運営に対して必要に応じてサポートを実施した。特にオンラインでの活動方法に対するサポートを丁寧に行い、コロナ禍において多文化共生の取組が止まらないように努めた。また、引き続き、福祉、男女共同参画、環境、市民活動、国際交流の分野に取り組む5団体で中間支援組織間の連携を図った。その他、しょうないREK実行委員会や国際交流ネットワークおおさかへの参加など地域の他団体・広域の関連団体との協働を進め、国際の視点に立った取組を行った。このほか、豊中市の都市間連携の動きに合わせ、隣接する四中核市（西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市）の国際交流協会、担当部署間で情報交換を実施している。

【対象】国際交流に関心を持つ一般市民及び団体

【主な実績】市民共同デスクへの参加、しょうないREK実行委員会への参加、四中核市での情報交換会への参加、市民団体の運営協力、市民団体・個人からの相談対応

#### (3) 留学生ホストファミリー事業

【趣旨】市民の国際交流活動が推進されるように環境整備を進める。

【内容】例年は近隣の大学と日本学生支援機構大阪日本語教育センターの留学生とホームビジットの形で年間を通して活動を行なうが、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため世話人会のミーティング以外は実施できなかった。なお、世話人会のミーティングでは活動の運営方法に関して協議を重ね、再開後にスムーズに活動できるよう準備を重ねた。

【対象】国際交流に関心を持つ一般市民

【主な実績】ボランティア登録 計69 家族

## 2. おとな国際事業

### (1) にほんご活動事業

【趣旨】外国人市民と日本人市民の出会いや交流、双方の関係が結べる機会を提供する。

【内容】日本人や外国人の参加者のニーズに合わせた多様な日本語交流活動を行った。

【形態】①もっともっとなつかえるにほんご、とよなかにほんご・木ひる、とよなかにほんご・金あさ、にちようがちゃがちゃだん、千里にほんご、南部日本語、オンライン日本語（つながれとよなかオンライン！） ※ 希望する外国人と研修を受けた日本人による日本語交流活動

②おかまち・おやこでにほんご、しょうない・おやこでにほんご、せんり・おやこでにほんご

※ 希望する外国人女性と研修を受けた子育て中の日本人女性による日本語交流活動

いずれの活動も新型コロナの感染状況を見ながら、対面、オンラインを併用したり、切り替えたりしながら行ってきた。

【対象】日本語交流活動への参加を希望する日本人及び外国人

【主な実績】①にほんご活動 実施回数のべ292 回、参加者のべ6,368 人（うち外国人3,190 人）

②おやこでにほんご 実施回数のべ68 回、参加者のべ633 人（うち外国人171 人）

### (2) 多文化共生推進事業

【趣旨】多文化共生のまちづくりを実現するために、市民が参加しやすい様々な学びの場を提供する。

【内容】世界の文化について様々な切り口で学ぶセミナーやワークショップの開催、また、地域の外国人が必要な地域情報にアクセスできるよう通訳を養成して派遣を行う。

【対象】多文化共生の取組に関心のある日本人・外国人

【主な実績】「世界を食べよう」のレシピ本の発行、頒布、広報（メディア掲載計8 回）、「世界を食べよう～おいしい話編」4 回。参加者のべ68 人（うち外国人8 人）。多文化・多言語セミナーとして「パンソリを楽しもう～安聖民パンソリライブ」1 回、参加者100 人（うち外国人15 人）、「世界の『ミカタ』～親子で楽しむ国際交流～」1 回、参加者16 人（うち外国人5 人）。国流シネマカフェ3 回、参加者のべ143 人（うち外国人13 人）等。

## 3. 持続可能な地域づくり事業

### (1) メディア・リテラシー市民ゼミナール

### (2) 持続可能な開発のための教育（ESD）・防災・地域貢献

【趣旨】国際化や情報化が進む中、民主的な社会作りに不可欠な知識・理念・技能を学ぶ機会を提供する。その学びに基づいた行動が地域でできるよう行政や各機関との連携・協働を促す。

【内容】①メディア・リテラシー市民ゼミナールでクリティカルな視点を学べる機会を提供した。

②持続可能な開発のための教育（ESD）事業について、ESD とよなか連絡会議に参加し、関係団体との地域課題の共有を行い、関係団体の連携について検討を重ねた。また、地域における幼小中高や教職員を対象とした国際理解教育の現場に講師を派遣したほか、地域の人たちの外国人の問題や国際理解・多文化共生等に関する相談を随時受けてきた。

③コロナ禍における外国人への影響調査及びワクチン集団接種会場の運営を実施した。

【対象】外国人及び一般市民

【主な実績】①メディア・リテラシー講座の開催1回、参加者6人（うち外国人2人）

②ESD とよなか連絡会議への参加。講師派遣年間のべ43件、71人。

③調査研究（報告会参加者138人）、ワクチン集団接種会場の運営（接種者のべ約800人）

## 4. 持続可能な人づくり事業

### (1) ボランティア研修事業

【趣旨】国際交流活動の担い手育成のため、ボランティア養成やボランティア研修を実施する。

【内容】①新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、2020年度新たに参加した日本語ボランティアが実際に活動に参加するタイミングがずれ込んだため、2021年度は新規の日本語ボランティア養成講座の開催は見送った。また、2020年度新たに参加した新規日本語ボランティア及び現行ボランティアのためのフォローアップ研修を数回に分けて実施した。また、2020年度実施を見送った多文化子育て支援ボランティア養成講座については、春と秋に2回、オンラインで開催した。（秋については、「しょうないおやこでにほんご」のみのボランティア募集）

②哲学カフェを実施し、市民の学び合いの場や自由に討論していくスキルを身に付けるための参加と対話の場などを提供した。

③一般市民向けに外国人の状況や当協会の活動を周知する場として「聴いてナットク！まるわかりセミナー～フィンランド編」を開催。

【対象】国際交流活動ボランティア、一般市民

【主な実績】①日本語ボランティアフォローアップ講座兼南部日本語・オンライン日本語講師登録講座：全3回、参加者のべ68人、新規日本語ボランティアフォローアップ研修：全2回、参加者のべ24人、多文化子育て支援ボランティア養成講座：全3回、参加者のべ53人、多文化子育て支援ボランティア（しょうないおやこでにほんご）：全2回、参加者のべ16人、多文化子育て支援ボランティアフォローアップ研修：全1回、参加者のべ8人

②哲学カフェの実施1回、参加者4人（※新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでの実施）

③聴いてナットク！まるわかりセミナー～フィンランド編1回、参加者16人。

## 5. 子ども国際事業

### (1) おまつり地球一周クラブ

【趣旨】次世代の担い手である子どもたちが日本や世界の様々な文化を体験して学ぶことのできるような異文化理解・国際理解の機会を提供する。

【内容】2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年間を通して実施できなかった。地域に暮らす様々な人の協力のもと、国際理解を促す体験活動「おまつり地球一周クラブ」を5回実施した。

【対象】小・中学生とその保護者

【主な実績】「おまつり地球一周クラブ」5回実施、参加者のべ89人。

### (2) 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

【趣旨】韓国・朝鮮につながるのある子どもたちが、民族講師（ソンセンニム）から、民族の文化や遊びなどについて学び、自尊感情を培うとともに、友だち（チング）とのつながりを深める場を設ける。

【内容】2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、毎月の活動実施はできなかったが「韓国・朝鮮の

ことばとあそびのつどい」を実施し、民族講師から民族文化や遊びについて学べる機会を提供した。

【対象】韓国・朝鮮につながるの小学生、中学生

【主な実績】「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」10回実施（※ミーティング含む）、参加者のべ156人（うち外国人70人）。小学生のハギハッキョ、チュギハッキョを実施。

## Ⅱ. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

### 1. おとなサポート事業

#### (1) 相談サービス

【趣旨】在住外国人が抱える課題を解決するために相談サービスを行う。また、相談スタッフが中心となって、地域に住む外国人が自国文化を発表する機会の創出を行い、エンパワメントを図る。

【内容】外国人のための一般生活相談及び外国人女性専用電話相談を相談サービス事業として実施した。対応言語は日本語、中国語、韓国・朝鮮語、英語、フィリピン語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語。相談に対応するために①多言語スタッフ、②事務作業、簡易な相談対応、多言語スタッフの調整を行うコーディネーター、③相談対応全体のコーディネート及び専門的な相談に対応する相談員を配置している。別途必要な通訳や翻訳作業も行っている。2021年度も外国人が日本人配偶者に「勝手に離婚される」問題を受けて、「リコン・アラート（協議離婚問題研究会）」を他機関と協働して運営し、外国人が抱える課題を広く社会に提起する取組みも継続して実施した。さらに、センター外での相談会開催や訪問支援などアウトリーチの取組を実施した。

【対象】外国人及び一般市民

【主な実績】①相談受付件数3,376件

②機関連携によって、より専門的な対応を行った。

③リコン・アラート（協議離婚問題研究会）を通じた啓発活動、一日離婚電話相談ホットラインの開催等。

#### (2) コミュニティ活動

【趣旨】地域に暮らす外国人のエンパワメントにつながるグループワークの展開、また自助グループの活動の側面支援を行う。

【内容】2020年度に引き続き、今後急速に高齢化を迎えるフィリピン人向けの居場所作り「Filipino Young at Heart's Club(FYAHC)」を開催した。コロナ禍ということもあり、対面活動が可能な時期にセミナーやイベントなどを短時間で開催した。また、例年実施していたベトナム人コミュニティ支援については、コロナ禍で活動がオンラインに切り替えられ、センターの利用がなかったことから実施できなかった。

【対象】外国人

【主な実績】Filipino Young at Heart's Club7回実施、参加者のべ53人。

#### (3) 防災事業

【趣旨】大規模災害時における外国人支援の仕組みを市や関係団体と共に構築し、災害時もふまえた安心・安全なまちづくりのための体制づくりならびにその啓発を行う。

【内容】2020年度に引き続き、災害時多言語支援センターを設置し、新型コロナウイルスや台風等に関する情報提供を行った（※設置は2016年度に豊中市と締結した「災害時多言語支援センター設置に関する協定書」による）。ほかに大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議への参加等を行った。

【対象】職員、外国人

【主な実績】災害時多言語支援センターによる情報発信等。

## 2. こどもサポート事業

### (1) 多文化子ども保育 “にこにこ”

【趣旨】「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として差別を受けることがないよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

【内容】保護者が参加する日本語学習と同時間帯に「多文化子ども保育 “にこにこ”」を実施し、孤立しがちな外国人家庭の子どもが多様な子どもやおとなと接し、コミュニケーションを取ることで社会性を身に付ける機会を提供した。

【対象】外国にルーツを持つ子ども

【主な実績】「多文化子ども保育 “にこにこ”」のべ18回実施、ボランティアのべ48人、子どもの参加のべ33人（うち外国人33人）

### (2) 子ども母語教室

【趣旨】「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として差別を受けることがないよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

【内容】子どもや親のニーズに合わせて中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語の「子ども母語教室」を実施し、外国にルーツを持つ子どもたちが母語でコミュニケーションが取れるように支援をするとともに、子ども同士の仲間づくりを促進させた。2021年度は緊急事態宣言期間中（4月下旬～6月）は休室とした。

【対象】外国にルーツを持つ子ども

【主な実績】子ども母語教室（中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語）4教室合わせてのべ17回実施、参加者のべ96人（うち外国人96人）。

### (3) 学習支援・サンプレイス

【趣旨】「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として差別を受けることがないよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

【内容】外国にルーツを持つ小学生、中学生、高校生への日本語・学習支援を通じた居場所作り「サンプレイス」を行った。緊急事態宣言中（4月下旬～6月）は活動休止とした。一方で、活動休止期間にも、保護者あてに電話連絡をして子どもたちの様子を伺ったり、オンラインでサンプレイスを開催したりした。対面活動再開後は子どものニーズに沿ってボランティアが宿題、日本語、教科の勉強、表現活動などに対応し、子どもたちやボランティアのつながりを深めるための行事や学びの場、企画事業なども行ったほか、子どもの相談にも随時対応した。また、外国にルーツを持つ子どもの居場所作りに必要な視点やスキルを学ぶための研修を実施した。

【対象】外国にルーツを持つ子ども

【主な実績】サンプレイス のべ33回実施、参加者のべ405人（うち外国人264人）。行事の開催1回、参加者23人（うち外国人19人）。ボランティア研修3回、参加者のべ28人（うち外国人14人）。



#### (4) 若者支援

【趣旨】豊中市に在住する在日コリアン、帰国、渡日といった背景を持つ多文化につながる子どもたちの現状を把握し、そのニーズに対応できるような支援を構想していく。

【内容】外国にルーツを持つ「若者世代」を対象に、就労・進学につながる日本語サポートや、安心して集い、悩みや課題を相談できる居場所作りならびに生活支援を行った。また、2020年度実施した在日ネパール人の若者の実態調査の報告会をオンライン開催した。

【対象】外国にルーツを持つ子ども・若者

【主な実績】①外国にルーツを持つ若者の居場所事業

- ・外国にルーツを持つ若者「たまりば」年34回、参加者のべ138人（うち外国人134人）
- ・イベント、行事の開催年2回、参加者のべ9人（うち外国人9人）

②在日ネパール人の若者の実態調査オンライン報告会 参加者73人

③高校進学のための同行支援1人

### 3. 多文化こどもエンパワメント事業

#### (1) 学習日本語「こんぱす」

【趣旨】豊中市に在住する、在日コリアン、帰国、渡日といった背景を持つ多文化につながる子どもたちの現状を把握し、そのニーズに対応できるような支援を構想していく。

【内容】学習のための日本語支援が必要な子どもや若者のための日本語教室で、日本語学習の支援を行った。また、子どもの日本語と学習面の躓きや悩み、不安に関する学習相談日を設け、学校教員や保護者等からの相談対応を行った（運営の中心はとよなかJSL）。

【対象】学習日本語「こんぱす」…外国にルーツを持つ子ども・若者

学習相談会…学校の教職員、外国にルーツを持つ子どもの保護者、子どもの日本語

【主な実績】学習日本語「こんぱす」のべ89回実施、参加者のべ967人（うち外国人358人）、教育相談4件、参加者のべ18件（うち外国人7人）

#### (2) てーげーコミュニケーションズ（多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト）

【趣旨】豊中市に在住する、在日コリアン、帰国、渡日といった背景を持つ多文化につながる子どもたちの現状を把握し、そのニーズに対応できるような支援を構想していく。

【内容】2014年度に公益財団法人庭野平和財団からの助成を受けた事業を引き続き自主財源で実施し、「てーげーコミュニケーションズ（多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト）」として、外国につながる子ども・若者たちの出会いの場を創造するための映像作品を作成した。その映像作品の宣伝広報、販売促進を行った。

【対象】外国にルーツを持つ子ども・若者

【主な実績】「てーげーコミュニケーションズ（多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト）」映像作品の宣伝、広報、販売促進

#### (3) ネットワーク事業への参加

【趣旨】主に大阪府内で外国にルーツを持つ子どもの支援に携わっている機関、団体でネットワークを組み、一つの機関・団体では解決が難しい課題について意見や情報の交換、発信を行った。

【内容】シンポジウムの開催、研修会の講師などを引き受けた。

【対象】外国にルーツを持つ子ども等、外国人の支援に携わっている機関・団体

【主な実績】子どもの夢応援ネットワーク会議への参加など

## Ⅲ. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

### 1. 小学校外国語体験活動事業

【趣旨】市内の小学生が異なる文化を持つ人の存在を通して国際理解や共生していく姿勢を育むとともに、外国語を使用してコミュニケーションを図る積極的な態度を身に付ける機会を提供する。

【内容】豊中市教育委員会から受託し、豊中市立小学校の3年生から6年生に外国語体験活動事業を実施した。体験活動を実施できる外国人ボランティアを配置し、事業を運営した。また、2020年度立ち上げた教材作成チームでは、授業アイデア集作成に向け、話し合いを行った。

【対象】豊中市立全小学校、3年生から6年生の児童

【主な実績】コーディネーター8人、参加ボランティア数50人（20か国・地域）、実施時間総数1,112時間、体験した子ども数約34,980人。

### 2. 国際教育推進事業

【趣旨】豊中市で行ってきた様々な「国際」に関する取組を総合的につなげるシステムを作り出すために、教育資源を共有財産にする学び合い、調査・研究を実施する。

【内容】豊中市国際教育推進連絡会に参加し、情報交換、意見交換を進めた。多文化フェスティバルを豊中市教育委員会協力のもと開催した。帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会に構成団体として参加し、「多言語による進路ガイダンス」を開催した。

【対象】豊中市教育委員会及び豊中市立小中学校

【主な実績】豊中市国際教育推進連絡会への参加（2回）。「多文化フェスティバル」の開催（年1回、参加者54人、うち外国人28人）、「多言語による進路ガイダンス」の開催（年1回、参加者124人、うち外国人60人）

### 施設管理受託事業

#### ・とよなか国際交流センター貸室業務

【趣旨】とよなか国際交流センター貸室業務は定款にある目的を達成するための事業（国際交流の機会提供及び参加促進の事業、国際理解及び国際化に関する啓発・研修事業、国際交流に関する情報の収集及び提供事業、民間団体の国際交流活動に対する支援事業、国際協力に関する事業、在住外国人に対する支援事業など）を推進していく活動ならびに同様の国際交流を目的とする一般市民や利益目的でない一般利用者への貸室業務であり、貸室の利用料金に関する収入は全て豊中市に納付している。

【内容】とよなか国際交流センターの国際交流目的利用の市民や一般利用者に対して、公平公正、安全に貸室業務を行った。さらに視察受入れや職員研修は通年で実施したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により豊中市が中学校を対象に実施する「地域体験学習 CUL(カル)」職場体験の受入れは行えなかった。また、空調設備改修工事のため2021年11月～2022年11月まで貸室業務は中止となっている。

【対象】一般市民及び施設利用者

【主な実績】①年間貸室利用者数16,085人（前年度比10,587人減）、うち外国人利用者数8,692人（前年度比4,504人減）・視察受入れ（計8件、合計168人）  
②Atoms 振り返り会参加者50人  
③職員研修（計26回）

### Ⅲ. 2021 年度事業実績詳細

#### Ⅰ. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

##### 1. 市民主体の国際交流活動推進事業

###### (1) 情報サービス事業

###### ◆ニュースレターの発行

日本語版と多言語版に分けて発行した。日本語版は「こくりゅうだより」として、内容はセンター事業を中心にした案内や報告を掲載した。表紙のデザインは、地域の高校との連携推進の一環として、大阪府立池田高校美術部と大阪府立桜塚高校イラスト部の高校生ボランティアに隔月でお願いしている（発行部数：A3 版表裏 2 ページ・フルカラー [144 号～155 号]、各月 1,400 部）。

多言語ニュースレターについては、2021 年度より「とよなかしからのおしらせ」として言語ごとの紙面を発行（発行部数：A4 版表裏 2 ページ・モノクロ、各月 8 言語で合計 3,290 部）。外国人が必要とする情報を多言語で分かりやすく提供するため、記事の選出や表現の仕方に工夫をした。

###### ◆多言語メールニュースの配信

月 1 回（基本的に毎月第 1 金曜日）、メールニュース配信希望者には多言語ニュースレターの内容を 9 言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、ベトナム語、フィリピン語）でメールで配信した。2021 年度は特に新型コロナウイルス感染症に関連する様々な情報を随時発信した。

（2022 年 3 月時点のメールニュース登録者数：552 人）

###### ◆書籍・新聞・雑誌・民族衣装、楽器等の閲覧及び貸出提供

雑誌の提供と収集事業。外国人向けの無料コミュニティ紙、多言語の新聞やチラシを配架するなど、言語的マイノリティへの情報提供を積極的に行っている。2021 年度はチラシの全面が見えるパンフレットラックを追加導入し、チラシ等の配架物を閲覧しやすくした。さらに多言語情報コーナーも言語別に整理し、利便性をはかった。

また、半年毎に豊中市立図書館から多言語での書籍（約 100 冊）が団体貸出されるなど、図書館とも連携して図書の実質を図っている（2013 年 1 月より継続して実施）。

館内に併設されている「地球市民ライブラリー」の蔵書については、図書ボランティアが図書の整理や書籍名簿の作成を行い、市民が利用しやすい環境を整えた。日本語能力試験等の検定試験受験を希望する外国人のためのサポート用のテキスト等も購入した。新型コロナウイルスの影響もあるのか、多言語でのフリーペーパーは発行そのものが減少しているため、配架も減っている。

###### ◆図書類（外国語図書（絵本）含む）

貸 出		貸出件数 (件)	増 冊 数		件数 (件)
総 数		93	総 数		174
【内訳】	一般図書（絵本含む）	43	【内訳】	一般図書	77
	外国語図書（絵本含む）	50		日本語学習関係	10
	<内>中国語	(8)		辞書類	2
	ネパール語	(15)		絵本（日本語）	12
	英語	(7)		資料	0
	韓国語	(19)		外国語図書（絵本含む）	73
	ベトナム語	(1)		学習教材	0

###### ◆定期刊行物

内 容		購入点数(単位：冊)	フリーペーパーなど(単位：誌)
定期刊行物	日本語新聞	2	
	雑誌・機関紙等	2	1
	外国語新聞	1	0

#### ◆民族楽器、民族衣装、民族教材

	民族衣装	民族楽器	民族教材	計（単位：件）
貸出（件数）	14	4	17	35
購入・寄付（件数）	0	0	2	2

#### ◆情報交換ボードの提供

情報交換ボードでは、掲示期間を区切った上で、個人が自由に情報交換できるようにしている。また、日本語ボランティア情報ボードも引き続き活用し、日本語交流活動が必要とされる情報を提供した（利用件数：8件）。

#### ◆ホームページ

協会HPでは、日本語を含む11言語の多言語ページのお知らせウインドウを使い、各言語で新しい情報を随時提供した。また新型コロナウイルスワクチン接種の情報の更新や予約サイトへ誘導できるようにした。

主催事業の到着情報等も随時更新し、常に最新情報を届けるように心がけた（協会の年間ホームページ訪問者数22,038件、多言語での情報提供ページの訪問数は6,515件）。

#### ◆SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

主にFacebookを利用し、日々の活動の紹介やイベント案内、研修会の報告などを継続して行った。2021年度も引き続き多言語ページ（英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、スペイン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、ベトナム語の9言語）を活用し、とりわけ新型コロナウイルス感染症の拡大状況や支援等について多言語による情報発信を重点的に行った。多言語版Facebookページでは、その他、毎月発行される外国人向け市政情報「とよなかしからのお知らせ」多言語版、防災に役立つ情報などを発信した。

##### 【協会のFacebookページのフォロワー数、「いいね！」数】

日本語ページ フォロワー数1,890人（前年度より179人増）、「いいね！」数1,657（前年度より339増）。

#### ◆プレスリリースの発行：メディア各社向けにプレスリリースを随時発行。

#### ◆メディア掲載歴

日時	掲載メディア	見出し/内容
4月21日	読売新聞	教育ルネサンス 変わる図書館 利用しにくい子供招く
6月13日	TNN 豊中報道。2	とよなか国際交流協会が「世界各国の家庭料理のレシピ本」を発行してみたいなので1冊オーダーしてみた
7月3日	読売新聞	母国 自慢の味 交流協会がレシピ本
7月18日	大阪日日新聞	世界の家庭料理1冊に
7月19日	TNN 豊中報道。2	豊中市内の6つの公共施設がコラボして「とよなかシネコン for kids」っていう親子で楽しめる映画企画やるみたい
9月7日	毎日新聞	豊中市・ワクチン 外国人10言語で安心接種
9月15日	読売新聞	ネパール人講師 食文化を語る講座
9月20日	読売新聞	接種「言葉の壁」なくせ
9月25日	毎日新聞	世界の家庭料理、おうちで楽しんで
9月26日	読売新聞	外国人接種 通訳で安心
9月28日	朝日新聞	世界を知ろう 味わおう
11月4日	City Life 北摂West版11月号	世界で旅して 世界の家庭料理レシピ集を発行
11月30日	読売ライフ12月号	“食”で世界旅行
2月9日	毎日新聞	メディア・リテラシー入門講座「こどもとメディア」

#### ◆取材協力：メディア各社からの取材に随時協力。

#### ◆その他

- ・『47行政ジャーナル』への寄稿「ワクチン接種がもたらした外国人とのつながり～とよなか国流の挑戦」

## (2) 市民活動協働事業

### ◆イベント「とよなか国際交流フェスタ」について

登録団体連絡会を行い、登録団体の活動状況やとよなか国際交流フェスタの実施に関して意見交換を行った。毎年、とよなか国際交流センター登録団体や事業ボランティアによる実行委員会形式で「とよなか国際交流フェスタ」を開催している。同フェスタはセンターで活動する登録団体の成果発表の機会ともしているが、新型コロナウイルスによる感染状況を踏まえ、三密を確実に防ぐのは難しいとの判断で、2年連続で開催を見送った。

また、新型コロナウイルスの感染拡大や空調改修工事（2021年11月～）の影響によりセンターの貸室が使用できず、通常の活動が制限される団体も出た。登録団体の成果発表の機会・登録団体の宣伝周知として、団体紹介ブックレットを300冊作成し配布した。

### ◆イベント「せかいのおばけやしき」の開催

例年8月にとよなか国際交流センターの貸室の利用率が下がり、来館者が減ることから、その時期に6階の全フロアを利用して「せかいのおばけやしき」を実施している（2018年度よりスタート）。2021年度は参加者同士の接触や密を確実に回避することが困難であると判断し、2年連続開催を見送った。

### ◆市民活動共同デスク

2010年度、とよなか市民活動ネットきずなの呼びかけで、(社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、とよなか市民環境会議アジェンダ21との5団体で編集委員会を作り、『2011とよなか市民活動ガイドブック』を作成した。これを機に、豊中での市民活動のさらなる活性化を図るために「市民活動共同デスク」を立ち上げ、ゆるやかなネットワークによる情報の交換と発信を続けている。その後、(公財)豊中市スポーツ振興事業団、豊中市市民活動情報サロンの受託団体が参加（市民活動ネットきずなの解散を経て2020年度からとよなかESDネットワーク）。豊中市スポーツ振興事業団の解散を経て現在の5団体となる。2020年度から壁新聞の発行がなくなり、各団体共通の課題を設定して毎回意見交換を行っている。今後も引き続き中間支援組織のゆるやかな情報共有ネットワークとして意見交換を継続する。

会議実施日	内 容 (場 所)
10月14日	5団体意見交換会（市民活動情報サロン）
12月17日	5団体意見交換会（市民活動情報サロン）
3月10日	5団体意見交換会（市民活動情報サロン）

さらに、市民主体の国際交流活動を推進するため、地域で活動する国際交流をテーマとした市民団体・グループの運営に対する側面支援を以下の通り行った。

日付	取組の内容
通年	センターを拠点として活動するボランティアグループ「日本語支援グループ・むすびめ」の運営支援及び就労を目指す外国人のための日本語サポート事業を協働で実施した。
通年	市民団体からの相談対応。協会ウェブサイト「国際交流の活動を充実させたい市民グループの皆様へ」というページを設置して周知をはかり、市民団体からの問合せに対して随時情報提供を行った。
情報交換	例年、とよなか国際交流センター登録団体との連絡会議、国際交流フェスタ実行委員会を行っているが、2021年度も新型コロナウイルスの感染拡大を受け、連絡会議を1回開催し、国際交流フェスタは開催を見送ることとした。登録団体の活動紹介冊子を作成し、活動についての市民への広報に努めた。

### ◆しょうないREKへの協力

2005年、豊中市の「市民公益活動推進条例」に基づき、市と市民が協働して庄内地域の環境・共生・活性化の課題に取り組む「しょうないREK」が立ち上げられた。（しょうないREKはRecycle [リサイクル]、Event [イベント]、Kawaraban : [かわら版] の頭文字を合わせた造語）。当協会としては、特に豊中市南部地域での関係機関・団体との連携を重点的に進めるため、実行委員会に定期参加し、イベントへの参加を行った。

#### ●しょうないREK 実行委員会

開催日	4月15日、5月20日、6月17日、7月15日、9月16日、10月21日、11月18日、12月16日、1月20日、1月25日（ふりかえり会）、2月17日、3月17日（計12回、5～9月は書面開催）
場 所	庄内図書館

## ●その他の取組

- ・ 2020年度に引き続き、「とよなか国際交流フェスタ」古本バザー（とよなか国際交流センター）が開催できなかった。

## ◆国際交流ネットワークおおさか

大阪府内の国際交流協会及び自治体を中心となって、地域の国際化、国際交流、国際協力、多文化共生に関わる諸問題に協力して広域的に取り組んでいる。2021年度は定例の会議で情報交換を行ったほか、研修会や相談会を実施した。また、「新型コロナウイルスワクチンの接種を受けた方へ（※埼玉県作成資料 [副反応等について]）」を10言語に翻訳し各関係機関・団体に提供した。

実施日	参加者数(人) (うち外国人)	開催場所	構成団体
4月23日	11(2)	大阪国際交流センター&Zoom	<b>【構成団体】</b> 大阪府国際交流財団、大阪国際交流センター（アイハウス）、吹田市国際交流協会、とよなか国際交流協会、とんだばやし国際交流協会、箕面市国際交流協会  <b>【オブザーバー】</b> 大阪府国際課、和泉市人権・男女参画室、池田市人権・文化国際課、堺市国際課、NPO タブマネ
6月18日	14(3)		
7月16日	11(1)		
8月27日	12(2)		
10月1日	12(1)		
11月19日	11(1)		
12月21日	11(1)		
2月25日	11(1)		
合計	93(12)		

### ・研修会、シンポジウム等

実施日	参加者数(人) (うち外国人)	開催場所	内容
11月5日	19(5)	大阪国際交流センター	国流ネットセミナー（講師：大阪弁護士会）
11月16日	25(5)	大阪国際交流センター	相談員研修（講師：山中京子さん）
12月4日	8(3)	和泉市和泉ボランティア市民プラザ	一日弁護士相談会（協力：大阪弁護士会）
2月4日	15(3)	大阪国際交流センター	フォーラムシアター（講師：内山唯日さん）
合計	67(16)		

## ◆中核市ネットワーク（NATS）について

西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市はいずれも中核市であるが、府県を越えて4つ並んでいる。現在、4市では全庁的に広域連携を進めているところであり、多文化共生の分野においても、担当課及び国際交流協会を交えて情報交換や事業面での協力について検討を進めている。

### ・情報交換会の実施

実施日	参加者数(人) (うち外国人)	開催場所	内容
5月31日	13(0)	Zoom	※新型コロナウイルス対策、新型コロナウイルスワクチンに関する情報提供、4市協働での取組について
7月5日	15(0)	Zoom	
9月17日	12(0)	Zoom	
12月23日	14(0)	Zoom	
1月31日	8(0)	Zoom	
合計	62(0)		

## ◆市民団体との連携及び運営支援

地域で活動する国際交流目的の市民団体の活動支援を随時実施した。

とよなか国際交流センターの登録団体（19団体）との連絡会議を開催した（オンラインで実施）。また、例年開催している国際交流フェスタは新型コロナ感染拡大のため実施できなかった。

登録グループ団体紹介ブックレットを作成し、登録団体の活動成果の市民への還元を行った。なお、同ブックレットはとよなか国際交流センターHPにも掲載している。

団体からの国際交流に関する相談窓口を設置し、随時相談に対応した他、団体の運営に対して必要に応じてサポートを実施した。さらに、市民団体の運営協力（助成金獲得に関する助言や推薦書の作成等）も行うほか、市民団体との事業に共催・後援を行った。

### (3) 留学生ホストファミリー事業

- ◆世話人会定例会：メンバー11人 毎月第3木曜日 全8回実施  
(5月、6月、8月、11月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

- ◆ホストファミリーボランティア数：登録家族69家族  
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため登録説明会を中止、新規登録家族なし)

2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、例年実施している「登録説明会(年2回)」「大阪大学とJASSO(日本学生支援機構大阪日本語教育センター)留学生とのマッチング・対面式・交流」「留学生とボランティアとの交流会(年3~4回)」「関連機関との打ち合わせや講演会参加」「ニュースレターの発行(年2回)」「協会イベントのお手伝い」等は実施できなかった。

## 2. おとな国際事業

### (1) にほんご活動事業

- ◆もっともつつかえるにほんご、千里にほんご、とよなかにほんご木ひる、とよなかにほんご金あさ、にちようがちゃがちゃだん、南部日本語、オンラインにほんご(つながれとよなかオンライン!)

にほんご交流活動は、日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアによって自律的に運営されている。外国人市民と日本人市民が出会い、日本語で交流を図る場として週4日(計7活動)開催した。なお、緊急事態宣言による休館時や豊中市における感染者数の増加期間には活動休止期間を設けた。一方で、活動休止期間においても、日本語学習のニーズはあること、日々の活動が学習者の居場所や様々な情報源になっていて生活を支えてきていたことをふまえ、できるところからオンラインでの活動も行った。

また、2020年度は「持続可能な地域づくり事業」として開催してきた「南部日本語(庄内公民館における対面活動)、オンライン日本語(オンラインに特化した日本語活動)」についても2021年度から「おとな国際事業」として実施した。なお、名称について庄内公民館における対面活動を「南部日本語」、オンラインでの活動を「オンライン日本語(愛称:つながれとよなかオンライン!)」とし、「南部日本語」については、対象とする学習者の参加のしやすさを考え、2021年度から日曜日に曜日を変更して実施した。

事業名	曜日	実施時間	参加者数(人)(うち外国人)	実施回数
もっともつつかえるにほんご	月	10:00~12:00	969(311)	43回 (うちオンライン28回・対面15回)
千里にほんご	木	10:00~11:30	405(122)	41回 (うちオンライン27回・対面14回)
とよなかにほんご・木ひる	木	13:30~15:30	1,658(816)	45回 (うちオンライン36回・対面9回)
オンラインにほんご	木	19:00~20:00	860(621)	40回 (オンライン開催のみ)
とよなかにほんご・金あさ	金	10:30~12:00	1,288(588)	45回 (うちオンライン[Zoom金あさ]での活動45回、対面でも並行して実施した回数14回)
にちようがちゃがちゃだん	日	10:00~12:00	597(307)	44回 (うちオンライン28回、対面11回、対面&オンライン5回)
南部日本語	日	13:00~15:00	591(425)	34回 (うちオンライン15回、対面15回、対面&オンライン4回)
総合計			6,368(3,190)	292回

※オンラインと対面のハイブリッド開催は1回とカウントしている。

●活動間の交流・学習会などの実施

事業名	実施日	内容	参加者数 (人) (うち外国人)
千里にほんご	4月22日	Zoom 体験会	10 (0)
	4月29日	オンラインレクチャー会 (ボランティア向け)	

●日本語関連研修等への参加

- ・7月10日 (土) 識字・日本語研究集会@オンライン
- ・7月13日 (火) 国際交流協会オンライン情報交換会 (日本語教室の運営について) @オンライン
- ・2月19日 (土) 2021年度 識字・日本語豊能ブロック交流研究会@オンライン

●日本語自主グループとの情報共有会

- ・8月3日 (火) 自主グループ情報共有会 (4団体の代表者と情報共有を実施した。)

◆おかまち・おやこでにほんご、しょうない・おやこでにほんご、せんり・おやこでにほんご

保育がない、子どもが慣れない、家から遠いなどの理由で、日本語教室に参加しにくい乳幼児連れの外国人女性の居場所を提供するため、とよなか国際交流センター以外の公的な場として岡町図書館、庄内図書館、千里図書館で日本人親子のボランティアと外国人親子の交流を行った。乳幼児を抱え、家に引きこもりがちな外国人女性が安心して生活や子育てなどの情報交換ができ、悩みを相談できる場、リフレッシュできる場づくりを行った。2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、図書館内での活動が行えない場合は、屋外 (公園) やオンラインでの活動を行った。

おかまち・しょうない・せんり おやこでにほんごの参加者数の合計 (人)	633 (うち外国人194)
-------------------------------------	----------------

●おかまち・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立岡町図書館3階、豊中市内の公園など		
活動期間	2021年4月13日～2022年3月22日 (30回)		
活動時間	毎週火曜日午前10:00～12:00		
参加者数 (人)	のべ364 (うち外国人101)		
うち外国人おとな (人)	61	うち外国人子ども (人)	40
うちボランティアおとな (人)	166	うちボランティア子ども (人)	97

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月13日	おしゃべり会@集会室2 読売新聞社取材	11月17日	おしゃべり会@集会室2
4月20日	おしゃべり会@桜塚公園	11月30日	みかん狩り
4月27日	おしゃべり会@桜塚公園	12月7日	おしゃべり会@集会室2
5月11日	おしゃべり会@桜塚公園	12月14日	お楽しみ会@センター
5月18日	おしゃべり会@桜塚公園	1月11日	おしゃべり会@センター
5月25日	おしゃべり会@桜塚公園	1月18日	お料理会@センター
6月1日	おしゃべり会@桜塚公園	1月25日	おしゃべり会@桜塚公園
6月8日	おしゃべり会@桜塚公園	2月1日	おしゃべり会@大門公園
6月15日	おしゃべり会@桜塚公園 新V見学	2月8日	おしゃべり会@轟木公園
6月22日	おしゃべり会@桜塚公園 新V見学	2月15日	おしゃべり会@轟木公園
10月5日	おしゃべり会@桜塚公園	2月22日	おしゃべり会@轟木公園
10月12日	クラフト (ハロウィンデコマスク作り) @集会室2	3月1日	おしゃべり会@轟木公園
10月19日	おしゃべり会@集会室2	3月8日	おしゃべり会@轟木公園
10月26日	ハロウィンパーティ@集会室2	3月15日	おしゃべり会@轟木公園
11月2日	おしゃべり会@集会室2	3月22日	お別れ会、物々交換、宝探し&お店屋さんごっこ@センター



11月9日	おしゃべり会@集会室2		
-------	-------------	--	--

### ●しょうない・おやこでにほんご

活動場所	庄内図書館3階、オンライン会議システム (Zoom)		
活動期間	2021年6月22日～2022年2月22日 (13回)		
活動時間	毎週火曜日午前10:00～12:00		
参加者数 (人)	のべ80 (うち外国人26)		
うち外国人おとな (人)	15	うち外国人子ども (人)	11
うちボランティアおとな (人)	44	うちボランティア子ども (人)	10

#### ～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
6月22日	おしゃべり会@Zoom	11月30日	おしゃべり会/ボランティア養成講座参加
9月28日	おしゃべり会	12月7日	おしゃべり会/ボランティア養成講座参加
10月12日	おしゃべり会	12月14日	おしゃべり会
10月26日	おしゃべり会	1月18日	おしゃべり会
11月9日	おしゃべり会	2月8日	エクササイズ@Zoom
11月13日	いもほり交流会@とよっぴー農園	2月22日	エクササイズ@Zoom
11月16日	おしゃべり会		

### ●せんり・おやこでにほんご

活動場所	オンライン会議システム (Zoom)、豊中市立千里図書館集会室など		
活動期間	2021年4月20日～2022年3月8日 (24回)		
活動時間	毎週火曜日午前10時～12時		
参加者数 (人)	のべ189 (うち外国人67)		
うち外国人おとな (人)	46	うち外国人子ども (人)	21
うちボランティアおとな (人)	99	うちボランティア子ども (人)	23

#### ～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月20日	おしゃべり会 (新学期よろず相談) @Zoom	11月9日	バルーンアート@図書館
4月27日	こどもの日イベント@Zoom	11月16日	読み聞かせ@図書館
5月11日	おしゃべり会 (各国の小学校事情等) @Zoom	11月30日	クリスマスカード作り@図書館
5月25日	梅雨クラフト@Zoom	12月7日	折り紙のクリスマスクラフト@図書館
6月8日	父の日クラフト@Zoom	12月14日	ミニクリスマスパーティー@図書館
6月22日	おしゃべり会 (父の日何した?) @Zoom	1月18日	おしゃべり会@図書館
7月6日	七夕クラフト@図書館	1月25日	おしゃべり会@Zoom
7月13日	おしゃべり会&読み聞かせ@図書館	2月1日	料理教室 (恵方巻) @Zoom
10月5日	おしゃべり会@図書館	2月8日	バレンタインデーカード作り@Zoom
10月12日	おしゃべり会@図書館	2月22日	おしゃべり会@Zoom
10月19日	おしゃべり会@図書館	3月1日	ひな祭りクラフト@Zoom
10月26日	ハロウィンクラフト@図書館	3月8日	家にあるものでしりとり@Zoom

### ●3 おやこ連絡会

- ・9月14日 (火) 13時～14時 (参加者: ボランティア7人)
- ・11月12日 (金) 13時～14時 (参加者: ボランティア7人)
- ・1月18日 (火) 13時～14時 (参加者: ボランティア7人)

### ●協力・その他

- <外部受入れ> (「おやこでにほんご」についてのヒアリング)
- ・11月30日 (火) 西宮市市民ボランティア

・12月20日(月) 吹田市国際交流協会

### ●勉強会への参加

・3月16日(水) 14時～16時 中央図書館構想についての勉強会@Zoom

## (2) 多文化共生推進事業

### ◆世界を食べよう

2014年度より、地域の日本人を対象に異文化に触れる機会及び講師となる外国人のエンパワメントにつながる機会を作るため、料理を通じた国際理解プログラムとして「世界を食べよう」を開催している。講師は、地域在住の外国人が担当する。飲食を伴う活動であることから、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、2020年度に引き続き2021年度も調理を含む活動を見合わせることにした。

それに代わって2021年度は2020年度末に発行した“世界の家庭料理レシピ集『世界を食べよう』”の頒布や広報を精力的に行った。メディアには計8回掲載され、大きな反響があった。広く頒布を行うため、オンラインショップを開設し、また、日頃から当協会事業に協力・連携を行っている市内の団体及び店舗にも協力してもらうことで、当協会の活動だけでなく、それら地域団体や店舗のそれぞれ周知となるよう広報活動を進めた。さらに、レシピ本を通じて国際理解への興味関心を高めてもらうことを目的に、市内図書館や小中学校等へレシピ本を寄贈した。

加えて、新たな試みとして、料理のお話を通じた国際理解として「世界を食べよう～美味しい話編」を計4回開催した。レシピ本に講師として登場している外国人市民の方を中心に、世界のさまざまな国や地域の文化や歴史について食の観点からお話をしていただいた。また、開催にあたっては庄内公民館で実施された「みんなで学校ごっこ」に参加することを通じて、普段、市北部にある国際交流センターの活動になかなか参加できない層への事業参加を促した。

レシピ集の有料頒布数 : 819冊

### ●メディア掲載

掲載日	掲載メディア	見出し
6月13日	TNN 豊中報道。2	とよなか国際交流協会が「世界各国料理のレシピ本」を発行したみたいなので1冊オーダーしてみた
7月3日	読売新聞	母国 自慢の味 交流協会がレシピ本
7月18日	大阪日日新聞	世界の家庭料理 1冊に
9月15日	読売新聞	ネパール人講師 食文化を語る講座
9月25日	毎日新聞	世界の家庭料理、おうちで楽しんで
9月29日	朝日新聞(夕刊)	世界を知ろう 味わおう
11月4日	シティライフ(北摂West版)	料理で旅して 世界の家庭料理レシピ集を発行
12月号	読売ライフ	”食“で世界旅行

※毎日新聞、朝日新聞、シティライフはネット版にも記事が掲載

### ●レシピ集寄贈先

豊中市立図書館 全9館

豊中市立小学校 全41校

豊中市立中学校 全17校

豊中市内認定子ども園等 計19園

※ 認定子ども園等は市内全園に寄贈の案内を行い、希望があった園のみに寄贈した。

### ●世界を食べよう～おいしい話編

開催日	実施内容	講師名	場所	参加者数(人) (うち外国人)
8月29日	インドネシア編	イラ・ミラ・ヴィダニンシーさん	庄内公民館	17(1)
9月23日	ネパール編	海野バティさん	国際交流センター	23(3)
12月18日	ルーマニア編	ポポヴィッチ・マリアさん	国際交流センター	18(3)
3月26日	台湾編	溝越茜さん	庄内公民館	10(1)

合計

68 (8)

※インドネシア編、台湾編は 庄内「みんなで学校ごっこ」において開催

## ◆しょうないサウンドステーションへの協力

庄内・豊南市場内に設けられているしょうないサウンドステーションでの地域活性化イベント「世界の音楽を楽しもう（7月22日）」への協力として、外国人ボランティアの協力の下、世界の音楽や踊りを紹介した。

## ◆多文化多言語セミナー

「パンソリを楽しもう～安聖民パンソリライブ～」

パンソリ唄者と鼓手による演奏とトークを人権平和センター豊中で開催した。とよなか人権文化まちづくり協会と共催、在日本大韓国民団大阪府豊能支部の協力などにより、これまでセンターにつながっていなかった方々にも広く参加していただいた。

実施日	テーマ	講師	参加者数 (人) (うち外国人)
3月19日	パンソリを楽しもう ～安聖民パンソリライブ～	安聖民さん (パンソリ唱者) 李昌燮さん (鼓手)	100(15)
合計			100(15)

## 「世界の『ミカタ』～親子で楽しむ国際交流～」

2021年度新規開催の国際理解プログラム。対象は小学3～6年生の子どもとその保護者。文化や言葉について知るだけでなく、グループワークや疑似体験を通して「ちがいい」や「あたりまえ」、「多様な価値観」等について積極的に考え意見交換する場を提供した。

実施日	テーマ	講師	参加者数 (人) (うち外国人)
8月21日	世界の『ミカタ』～親子で楽しむ国際交流～	フロール・カラビア・サンティアゴ	16(5)
合計			16(5)

## ◆コモとスースの絵葉書プロジェクト

市民から募集した協会キャラクター「コモとスース」のイラストを配置した絵葉書を5枚1組で作成し、2017年度より継続して頒布している。

## ◆国流シネマカフェ／とよなかシネコン

国際交流や人権に関する映画を観ることで、社会的課題についての新たな気づきにつなげるために実施している。2021年度は国流シネマカフェとして2回上映会を実施した（下記、表中の第1回、第3回が該当。場所は第1回がすてっぷホール、第3回が千里公民館）。3月27日開催の国流シネマカフェについては、センター空調設備の改修工事のためすてっぷホールが使用できなかったため、初めてのセンター外施設での開催となった。

また、「国流シネマカフェ」に加えて、映画を通して公共施設が取り組む課題や社会問題について考えるきっかけにもらうために市内の公共施設とのコラボ企画「とよなかシネコン」を2021年度も企画・開催した（下記、表中の第2回が該当。場所はすてっぷホール）。参加団体はとよなか市民活動情報サロン、庄内公民館、中央公民館、アジェンダ21、とよなか人権文化まちづくり協会と当協会。夏休み期間に開催時期を合わせ、子ども・親子向けの映画を上映した。

	開催日	上映作品	参加者数 (人) (うち外国人)
第1回	7月3日	「ボヘミアン・ラプソディ」	54 (6)
第2回	8月15日	「アダムファミリー」 ※とよなかシネコンの一環	46 (3)
第3回	3月27日	「ボスベイビー」	43 (4)
合計			143(13)

### 3. 持続可能な地域づくり事業

#### ◆市民ゼミナール・メディア・リテラシー

日 時	2022年3月5日(土)
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数(人)(うち外国人)	6(2)
テ ー マ	メディア・リテラシー講座 ～こどもとメディア～
講 師	田島知之さん(京都府立大学非常勤講師)、登丸あすかさん(文京学院大学助教)
ワークショップ内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私のメディア日記</li> <li>・ メディア・リテラシーとは</li> <li>・ ネットソーシャルメディアのリテラシー</li> </ul>

①参加者同士の「対話の文化」を作ること、②参加者一人ひとりが持つ価値観や社会の見方がメディアを通してどのように形成されてきたかを知り、メディア社会を主体的に生きる視点を獲得すること、③マイノリティ市民の視点で考える力を獲得することで「多様な人々が尊重される地域づくり」の推進を目指している。

2021年度は2020年度に引き続き「子どもとメディア」をテーマに、初めてメディア・リテラシーの講座に参加する人にも参加しやすいような構成で開催した。参加者の多くが初めて参加する人であった。一日にどんなメディアにどのくらい触れているかをふりかえるワークから始め、インターネット上、とくにソーシャルメディアのリテラシーの解説、実際のネットニュースの分析を行った。参加者の世代や生活背景は様々であり、それぞれの経験談や意見が活発に交わされた。今回は新型コロナウイルスの感染が拡大している影響から講師の一人がオンライン、その他は会場での対面のハイブリッド形式で実施した。

#### (2) 持続可能な開発のための教育(ESD)・防災・地域貢献

国連が提唱し、2005年から始まった「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」を受け、2005年2月にキックオフをしたESDとよなかは、豊中市と市民活動中間支援団体(6団体)が事務局会議を行い、緩やかにつながりながら10年間活動を行ってきた。その活動内容を踏まえ、ESDとよなか連絡会議をスタートさせ、現在も関係団体で協働して継続的に活動を行っている。

2021年度は各構成団体のコロナ禍での取組状況の共有のほか、ESDとよなか連絡会議の進め方について意見交換を行ったほか、連絡会について発信する動画の作成を行った。

#### ◆2021年度 ESDとよなか連絡会議

実施日	参加者数(人) (うち外国人)	開催場所	構成団体&機関名
11月4日	12(2)	環境交流センター	NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21、一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会、一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団、公益財団法人とよなか国際交流協会、社会福祉法人豊中市社会福祉協議会、NPO法人とよなかESDネットワーク、豊中市[環境政策課、市民協働部千里地域連携センター、人権政策課、社会教育課]
12月23日	12(2)	環境交流センター	
1月20日	12(2)	公園管理事務所	
2月8日	11(2)	人権平和センター豊中	
合 計	47(8)		

#### ◆国際理解教育などの講師の派遣など

全部で45件、73人(19か国)を派遣した。内容も生活や文化、言葉の紹介のほか、豊中市の多文化共生に関する取組や制度の現状、外国人の状況など多様であり、対象も学校やこども園、市役所職員や一般向けセミナーなど幅広く対応した。また、2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン(Zoom)による対応もあった。



	実施日	派遣先、内容	講師 (ルーツを記載)	講師の人数 (人)
1	4月8日	公明党社会的孤立対策本部・オンライン(外国人と共生する地域づくりから見えてきたこと)	日本(職員)	1
2	5月10日	大阪府在日外国人教育研究協議会(府外教2021年度定期総会記念講演～つながり紡いで～)	日本(職員)	1
3	5月～通年	庄内こどもの杜幼稚園(異文化理解)	ネパール	1
4	5月18日	(一財)大阪市男女共同参画のまち創生協会・オンライン(「外国につながる子どもの支援～乳幼児編～」)	アメリカ(職員)	1
5	6月11日	豊中市立少路小学校(5年生 多文化理解)	中国	1
6	6月11日	吹田市立豊津西中学校(1年生 国際理解)	韓国、台湾、エクアドル、ペルー	4
7	6月11日	豊中市立北丘小学校(「外国の小学校についてしよう」～インド～)	インド	1
8	6月24日	ホテルアイボリー(総会～外国ルーツの子どもの現状とロータリークラブでできること)	日本(職員)	1
9	7月21日	NPO法人多民族共生人権教育センター・オンライン(2021多民族共生人権研究集会)	日本(職員)	1
10	7月26日	大阪産業大学(日本語支援論)	日本(職員)	1
11	7月30日	泉南市外国人教育研究協議会(泉南市人研・市外教 夏季研究集会)	日本(職員)	1
12	8月5、6日	豊中市教育センター・豊中市立第四中学校(教職員2年目研修)	日本(職員)	1
13	8月11日	北神河区文化センター会議室(日本語ボランティア養成講座)	日本(職員)	1
14	8月18日	(公財)兵庫県国際交流協会(地域日本語教育に関する研修①)	日本(職員)	1
15	8月27日	大阪府在日外国人教育研究協議会・オンライン(府外教セミナー)	日本(職員)	1
16	9月29日	(公財)兵庫県国際交流協会(地域日本語教育に関する研修②)	日本(職員)	1
17	10月4日	放送大学学園・オンライン(生涯学習支援論)	日本(職員)	1
18	10月15日	大阪府立福井高等学校(1年生 多文化共生)	日本(職員)	1
19	10月27日	豊中市立豊島西小学校(校内研究授業①)	日本(職員)	2
20	10月27日	茨木市立上中条少年センター(識字・日本語教室指導者研修)	日本(職員)	1
21	10月28日	豊中市立第五中学校(国際理解教育)	中国、韓国、カナダ、台湾	4
22	10月28日	大阪市立中央図書館(多文化共生のまちづくり)	日本(職員)	1
23	11月2日	豊中市立第十八中学校(多文化共生教育)	韓国、中国、オーストラリア	3
24	11月5日	鶴見国際交流ラウンジ日本語ボランティア講座・オンライン	アメリカ(職員)	1
25	11月5日	豊中市立豊島西小学校(国際理解教育)	中国	2
26	11月10日	(公財)兵庫県国際交流協会(地域日本語教育に関する研修③)	日本(職員)	1
27	11月14日	箕面市交際交流協会(日本語ボランティア研修)	日本(職員)	1
28	11月9日、 12月7、8日	大阪府立豊中支援学校(国際交流と異文化体験①)	ベラルーシ	1
29	11月24日	豊中市立豊島西小学校(校内研究授業②)	日本(職員)	2
30	11月25日	総務省・オンライン(近畿ブロック多文化共生地域会議)	日本(職員)	1
31	11月30日	大阪大学(協会事業の紹介&多文化共生について)	日本(職員)	1
32	12月6日	豊中市立第二中学校(国際理解教育)	フランス、台湾、ロシア、中国、エクアドル、タイ	6
33	12月13日	和泉市教育委員会・オンライン(識字・日本語教室のこれから)	日本(職員)	1
34	12月21日	池田市立北豊島小学校(多文化理解①～ベトナム編～)	ベトナム	1
35	1月20日	豊中市立克明小学校(2年生わたしたちのまちの国際交流センター)	日本(職員)	1

36	1月24日	豊中市立第九中学校（国際理解教育）	台湾、インドネシア、ベトナム、中国、ペルー、オーストラリア、ネパール、タイ、韓国	9
37	1月26日	豊中市立第一中学校（国際理解教育）	ベトナム、中国、韓国、フィリピン、台湾	5
38	1月28日	豊中市立北丘小学校（外国語体験①～中国～）	中国	1
39	1月31日	池田市立北豊島小学校（多文化理解②～マレーシア編～）	日本	1
40	12月1、21日、2月15日	大阪府立豊中支援学校（国際交流と異文化体験②）	ベラルーシ	1
41	2月12日	大阪弁護士会人権フェスタ（※当協会紹介動画の提供のみ）	-	-
42	2月17日	豊中市立第四中学校夜間学級（ネパールから日本へ 生活の場、学習の場から見えてくる課題）	日本（職員）、ネパール	2
43	2月22日	豊中市立北丘小学校（外国語体験②～モンゴル～）	モンゴル	1
44	2月23日	庄内公民館（人権文化まちづくり講座）	日本（職員）	1
45	3月4日	豊中市立箕輪小学校（1年生 おとなりのくに 中ごくについてしよう）	中国	1
<b>合計</b>				<b>73</b>

#### ◆コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究

コロナ禍における外国人市民の生活等への影響を明らかにするため、豊中市と共同で市内在住の外国人に対し、アンケート・インタビュー調査を行った。実施に際しては、豊中市多文化共生施策推進連絡会議（事務局：豊中市）に本調査研究に関する専門部会を設置（部会長：榎井縁 [大阪大学大学院人間科学研究科附属未来創生センター特任教授]、副部会長：高谷幸 [東京大学大学院人文社会系研究科准教授]）し、関係機関・団体（NPO 法人国際交流の会とよなか、Toyoanaka Vietnamese Association、Hidayah、とよなか国際交流協会中国人グループ、在日本大韓民国民団大阪府豊能支部、NPO 法人 ZUTTO 居場所ぐーてん、豊中青年会議所、社会福祉法人豊中市社会福祉協議会、豊中市在日外国人教育推進協議会、豊中市 [教育委員会学校教育課、産業振興課、地域共生課]、公益財団法人大阪府国際交流財団、とよなか都市創造研究所）の参加を得て行った。

取組内容は報告書にまとめ（①調査結果、②分析・考察、③提言）、市役所・協会 HP に掲載したほか、2022 年にはウェビナーで調査結果の報告会を行った（参加者 138 名）。

#### ● 調査の専門部会について

日程	5月27日、6月14日、7月5日、11月18日、12月23日 ～計5回開催
----	---------------------------------------

#### ● 調査について

	調査概要	調査内容
アンケート調査	市内在住の外国人 2,702 人に調査票を送付し、インターネット上の回答フォーム及び紙の調査票で回答（有効回答件数 631 件）	①コロナに対する不安と生活への影響について、②子育てと学校について、③仕事について、④生活するための情報について、⑤心配事や悩みの相談について、⑥公的な支援や豊中市役所、国際交流センターへの希望について…等。
インタビュー調査	70 名に実施	①出入国制限の影響について、②母国の感染状況・感染対策等との違いについて、③情報について、④医療について、⑤仕事について、⑥言葉・日本語について、⑦近所との付き合い、地域の活動について、⑧技能実習制度について、⑨子育てについて、⑩差別について、⑪心配事、悩みの相談、助けてくれる人について、⑫とよなか国際交流センターについて

## ◆外国人向け新型コロナウイルスワクチン集団接種会場の運営

豊中市のコロナワクチン集団接種会場の一つにとよなか国際交流センターが指定されたことにより、多言語対応が可能なワクチン接種会場の運営を行うため、豊中市と業務委託契約を締結しました。日本語の理解が難しい外国人市民に不安なく安心してワクチンを接種してもらうための環境整備及び、接種案内や予約、接種会場での対応をすべて10言語で行うことで、情報が届きにくい外国人市民のスムーズなワクチン接種を推進した。

### 【協会で実施した業務】

- ・ 多言語 WEB 予約受付システムの開発・受付業務・問合対応 URL <https://va.toyonaka-int.com/jp/>
- ・ 多言語案内文の作成及び封入作業
- ・ 接種会場の通訳者コーディネート／当日の会場運営
- ・ 外国人向け情報提供・相談対応

実施日	内容	のべ参加者数(人)
2021年7月4日～11月7日の毎週日曜日 9:30～16:00 (追加接種 2022年3月13日、22日)	新型コロナウイルスワクチン接種会場の運営	1,023
<b>合計</b>		1,023

※参加者のうち、接種者はのべ約800。

## ◆その他

### ●幸せの黄色いレシートキャンペーン

イオングループが行っているもので、毎月11日の買い物時に発行される黄色いレシートを客が地域の応援したい団体の投函BOXへ入れると、買い上げ金額合計の1%が希望する品物で寄贈される。「ダイエー曾根店」にて参加している。

期間	金額	寄贈品
2021年上期・下期(2021.4～2022.2)	¥15,415	電気ケトル、バスタオル、絆創膏 他

## 4. 持続可能な人づくり事業

### (1) ボランティア研修事業

例年秋から冬に実施している「日本語ボランティア養成講座」「千里にほんごボランティア養成講座」は、2021年度の開催を見送った。新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、2020年度新規に加入したボランティアが実際の日本語交流活動に参加するタイミングが大幅に遅れたため、2021年度の新ボランティアの養成は難しいと判断した。上記の理由から、新規日本語ボランティアに向けたフォローアップ研修を2回実施し、新規ボランティアの不安解消やモチベーション継続を図った。また、「南部日本語」と「オンライン日本語」の講師(ボランティア)登録研修を兼ねた現役ボランティア向けのフォローアップ研修も実施した。

2020年度に開催できなかった「多文化子育て支援ボランティア養成講座」に関しては、オンラインで実施し、例年開催してきた春の募集に加えて、ボランティアを重点的に募集したい「しょうないおやこでにほんご」に特化した講座を秋にも開催した。

### ◆日本語ボランティアフォローアップ講座 兼 南部日本語・オンライン日本語講師登録

	実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
第1回	4月4日 13:00～15:00	講師研修①	安田乙世さん (日本語教育支援グループ「ことのは」)	23
第2回	4月11日 13:00～15:00	講師研修②	安田乙世さん (日本語教育支援グループ「ことのは」)	20
第3回	4月18日 13:00～15:00	講師研修③	安田乙世さん (日本語教育支援グループ「ことのは」)	25
<b>合計</b>				68



### ◆新規日本語ボランティアフォローアップ研修

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、2020年度末に実施した日本語ボランティア養成講座を受講した新規ボランティアについて、各活動での受入れが難しい状態が続いた。そのため、新規ボランティアの不安解消やモチベーションの継続、同時期に申し込んだ他のボランティア同士のつながりづくりなどを目的としたフォローアップ研修を実施した。対面での開催を予定していたが、第1回目は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、オンラインでの開催となった。全2回実施したが、いずれもワークショップ形式を取り入れ、参加者同士が互いに意見を交わしたり、感想を共有したりする機会を積極的に設けた。

	実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
第1回	8月19日 10:00～12:00	「つながる！日本語交流活動」	黒島トーマス友基、山本房代（とよなか国際交流協会 職員）	13
第2回	12月14日 14:00～16:00	「外国としての日本で暮らす～とよなか国際交流協会の多言語スタッフの体験談～」	朴貞淑、松本テレサ（とよなか国際交流協会 多言語スタッフ）	11
合計				24

### ◆多文化子育て支援ボランティア養成講座

2020年度に実施を見送った本講座だが、2021年度はオンラインでの開催とした。また、新規ボランティア向けのフォローアップ研修も実施した。

	実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
第1回	5月27日 10:00～12:00	「多文化保育の実践と外国ルーツの子どもにまつわる課題について」	山田 拓路さん (NPO法人メタノミア代表理事)	16
第2回	6月3日 10:00～12:00	「子どもの育ちと子育て支援—『子育て』と『教育』から『子育て』と『共育』へ—」	神原文子さん（社会学者）	16
第3回	6月10日 10:00～12:00	『おやこでにほんご』・『多文化保育にここ』の活動紹介と外国人ママのお話	「おやこでにほんご」「多文化子ども保育にここ」ボランティア、山本房代（とよなか国際交流協会職員）	21
合計				53

※第3回の参加者数のうち、7人は現役ボランティア。

### ◆多文化子育て支援ボランティア養成講座（「しょうないおやこでにほんご」募集）

	実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
第1回	11月30日 10:00～12:00	「外国人親子への子育て支援～地域コミュニティをつくりだす」	西恵味さん（J-オリエンテーション）	7
第2回	12月7日 10:00～12:00	「私の“しょうないおやこ”体験記～「おやこでにほんご」から「多文化ママカフェ」へ」	船越麻澄さん（NPO法人港北国際交流協会）、「しょうないおやこでにほんご」経験者2人	9
合計				16

### ◆多文化子育て支援ボランティアフォローアップ研修

	実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
	9月9日 10:30～12:00	子どもの育ちと自分の育ち —前回の参加者アンケートを踏まえて—	神原文子さん（社会学者）	8

※8月5日に対面での開催を予定していたが、日程を延期してオンラインでの開催に切り替えた。

### ◆哲学カフェ in とよなか国際交流センター

参加者みんなで問い、意見を出し合う場づくりとして「哲学カフェ in とよなか国際交流センター」を行った。新型コロナウイルスの感染拡大の中、マスク着用やオンラインでのコミュニケーションが増えていることを受け、テーマは「顔って見せないといけないの？」とした。

	実施日	テーマ	進行役	参加者数(人) (うち外国人)
第1回	12月11日 14:00～15:15	哲学カフェ in とよなか国際交流センター～オンライン編～ テーマ：顔って見せないといけないの？	川崎唯史さん	4 (0)
合計				4 (0)

## ◆まるわかりセミナー

広く市民に対して多文化共生について知ってもらうための講座を開催した。2021年度は、感染症対策を行いながら対面で開催した。

実施日	テーマ	講師	参加者数 (人) (うち外国人)
10月23日	聴いてなっとク！まるわかりセミナー ～フィンランド編	山本房代 (とよなか国際交流協会職員)	20 (2)
合 計			20 (2)

## 5. 子ども国際事業

### (1) おまつり地球一周クラブ

地域に暮らす外国人が講師となり、国際理解講座や遊び等の体験を通じて国際感覚を持った子どもたちを育成し、豊かな地域社会を構築することを目的として実施した。また、外国人講師にとっては持っている力を発揮する機会になった。2021年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、時間を短縮して開催した。さらに、講師と打ち合わせを重ねて、密を避けながら安心して楽しめるプログラムを企画・実施した。

	実施日	テーマ	参加者数 (人)		
				うち子ども	うち外国人
第1回	7月12日	台湾をしろう	14	7	3
第2回	9月11日	中国をしろう	15	6	7
第3回	10月30日	ベトナムをしろう	17	8	5
第4回	12月25日	ネパールをしろう	17	7	7
第5回	3月26日	チョアチョアコリア	26	14	8
合 計			89	42	30

### (2) 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、毎月第3土曜日に集まり、民族講師（ソンセンニム）から、民族の文化や遊びを学び通して、自尊感情を培うとともに、友だち（チング）とのつながりを深める場を設けた。市内小中学校の先生方による「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」実行委員会が中心となり、「つどい」の運営を進めている。場所はとよなか国際交流センター。

民族講師（ソンセンニム）：金 生蓮、金 仁淑、高 美和の3名

	日程	内 容	参加者数 (人) (うち外国人)	教員 (人) (うち外国人 ※ソンセンニム含む)
—	4月17日	実行委員会ミーティング	—	8 (2)
—	5月15日	実行委員会ミーティング	—	12 (4)
—	6月12日	中止	—	—
—	9月18日	実行委員会ミーティング	—	8 (2)
第1回	10月16日	開校式、名札づくりなど	4 (4)	17 (6)
第2回	11月20日	果物の名前について、ノリゲ作りなど	4 (4)	14 (4)
第3回	12月18日	野菜かるた、年賀状作りなど	7 (7)	17 (4)
第4回	1月15日	お正月のあいさつとあそび	7 (7)	17 (4)
—	2月19日	実行委員会ミーティング	—	9 (3)
第5回	3月19日	閉校式	11 (11)	21 (8)
合 計			33 (33)	123 (37)
総合計			156 (70)	

※ 緊急事態宣言の発令などにより例年通りの活動はできなかった (4、5、6、9、2月)。

◆ハギハッキョ（夏期学校）

日程	名前	場所	参加者数（人）
7月27、28日	第42回 ハギハッキョ（夏期学校）	豊中市立蛸池小学校	15
11月6日	チュギハッキョ（秋期学校）	大阪生野コリアタウン	5
合 計			20

※ 中学生のハギハッキョ（夏期学校）は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

## Ⅱ. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

### 1. おとなサポート事業

#### (1) 相談サービス

生活相談・外国人女性専用電話相談 毎週月～土曜日 11:00～16:00	相談件数（臨時通訳除く） 計：3,376件	
相談員	吉嶋かおり（金）、ラボルテ雅樹（木）、職員（月・火・土）	
コーディネーター	ジャ・チン（月・木・金・土）	
多言語スタッフ	中国語	ジャ（月・木・金・土）
	韓国・朝鮮語	ジェイ（木・金・土）
	フィリピン語／英語	マリア（木・土・月）、ジャスミン（金）
	タイ語	パオ、プレーン（木・金）
	ベトナム語	トゥエット（木・金）
	スペイン語	テレサ（木・金）
	インドネシア語／英語	ザーラ、アナンダ（木・金）
ネパール語	パティ（木・金）	
臨時通訳	臨時通訳件数：15件	

※ 上記以外の多言語スタッフ以外に、電話通訳登録者などに臨時通訳を依頼。

#### ◆相談体制

2021年度は、2020年度に続いて豊中市が法務省「外国人受入環境整備交付金」を受けたことを基に、当協会でも相談員の増員、多言語スタッフの対応曜日を追加するなどして、引き続き体制強化を図っています。

#### ◆相談件数

2021年度の相談件数は3,376件。相談日を増設した2020年度は1,848件であった。相談日増設以前の相談件数は、2019年度は952件、2018年度が1,001件、2017年度が952件で、1,000件前後で推移していたことをふまえると3倍増となっている。

2020年度に続いてリモート対応を導入しており、相談者の希望や状況に応じて、リモートやSNSにより相談対応を行っている。加えて、複合課題を抱えるなかで、必要のある相談者にはアウトリーチによる相談対応を実施している。

相談全体の中で、新型コロナウイルスに関わる相談は1,270件（37.6%）と、2020年度は525件（28.4%）から大きく増え、ワクチンやPCR検査等を含む医療に関する相談は前年比4倍となっている。その過半数はネパール、フィリピン、中国、ベトナム国籍で占めている。

相談全体の内訳を在留資格別にみると、永住者・配偶者・定住者が計35.7%、家族滞在が16.3%、技能実習と留学が計7%。永住者・配偶者・定住者の半数はフィリピン国籍（52.5%）で、支援施策の手続きに関する相談が多く、活動に基づく在留資格の過半数はネパール国籍（40.9%）と中国国籍（21.3%）で、飲食業を営むネパールとその家族、留学生の生活困窮と求職の相談が多かった。

#### ●相談者の内訳について

▽相談者の国籍：外国にルーツを持つ日本国籍の相談者が増加〔（）内の数字は前年〕

フィリピン28.4%、中国14.6%、ネパール17.0%、韓国9.7%、ベトナム6.3%、タイ2.0%、日本4.4%。

日本国籍で使用言語が日本語以外の相談は41件。日本国籍の相談者は108件で帰化者や第2世代など、外国にルーツを持つ者が大半だった。外国籍だが日本語で相談を行ったのは712件。39か国から相談があった。

▽相談者の在留資格：

身分又は地位による在留資格計36.1%：配偶者11.6%、定住者9.7%、永住者14.5%

活動に基づく在留資格：家族滞在16.3%、その他

## <相談内容と件数>

※ 1件の相談が複数のテーマにまたがることもあるため、内容別件数全体は相談件数全体より大きくなる。

大項目	内容別件数 (前年度比)	割合 (%)	前年度 件数	小項目 <カッコ内は全件に占める割合 (%) >
夫婦関係	221 (72%)	6.5	307	離婚 (3.1)、DV (1.1)、不和・不満 (0.9)、無断離婚 (0.6)、結婚 (0.3)、親権・養育費 (0.3)、夫婦その他 (0.2)
手続き	217 (66.4%)	6.4	327	在留資格など (4.5)、家族呼び寄せ (0.7)、日本国籍取得・帰化 (0.4)、養子 (0)、その他 (0.9)
生活	822 (120.8%)	24.5	684	生活困窮 (7.8)、健保・年金 (4.1)、税金 (2.2)、通訳翻訳 (0.8)、交通 (0.2)、防災・災害 (0)、その他行政手続 (8.4)、生活その他 (0.8)
医療保健	740 (468.4%)	21.9	158	医療(17.8)、メンタルヘルス(1.7)、母子保健(0.7)、その他 (1.7)
人間関係	156 (112.2%)	4.6	139	家庭 (2.3)、友人 (0.6)、職場 (0.5)、地域 (0.4)、その他 (0.8)
労働	207 (66.8%)	6.1	310	学校 (6.6)、求職 (2.2)、失業・退職 (1.2)、就労定着上の問題(0.8)、給料未払 (0.3)、労災 (0)、その他 (1.6)
子ども	360 (128.6%)	10.7	280	子育て (1.5)、保育所・幼稚園 (0.7)、その他 (1.8)
日常生活	552 (97.2%)	16.4	568	日本語学習 (7.5)、日常生活 (4.1)、住居 (2.6)、金銭問題 (0.9)、その他 (1.2)
その他	97 (127.6%)	2.9	76	人権侵害 (1.2)、その他 (1.7)

## ◆機関連携

他機関からの問い合わせ、他機関で受けた相談案件への支援、当協会で受けた相談案件に対する他機関からの協力など、他機関との連携による相談は211件（前年度比89%）だった。機関連携で多いのは、法的対応にかかる弁護士との連携、経済的困窮者（生活保護受給者含む）の家庭や生活上等の問題、就労支援、労働問題、DV被害者への対応、子どもの学校生活における問題等であった。

豊中市	人権政策課、保健センター、子ども家庭相談室、教育委員会、幼稚園、小・中学校、福祉事務所、地域就労支援センター（くらし支援課）、地域包括支援センター、他
豊中市以外の自治体・学校	福祉事務所・生活支援部局、DV担当、保健センター、府・他市教育委員会、公立学校、他
公的支援機関	社会福祉協議会、母子福祉支援施設、公営住宅、他市国際交流センター
その他支援機関	在住外国人支援団体、人権擁護団体
その他	弁護士、病院、警察、企業・事業所、協会事業ボランティア、議員

## ◆スタッフ研修（内部・外部）

相談事業スタッフの研修を行い、相談員としての基本的な知識・スキルを学び、資質向上を図った。

実施日	テーマ・講師等	参加者数（人）（うち外国人）
7月9日	グループスーパービジョン 講師：山中京子さん（コラボレーション実践研究所長）	14(8)
6月15日	アウトリーチ勉強会：京都における外国人高齢者・障害者へのアウトリーチ実践に学ぶ 村木美都子さん（京都モアネット）他	3(1)
8月26日	アウトリーチ勉強会：佐賀県における子ども・若者へのアウトリーチ実践に学ぶ 谷口仁史さん（スチューデントサポートフェイス） ※Zoom	7 (1)
8月28日	多文化ソーシャルワークの視点から 異文化「終活」を考えるセミナー 主催：愛知県立大学生涯発達研究所 ※Zoom	7 (7)
8月28日	知っておきたい！高齢者介護 ～安心して生活するための介護制度～ 主催：公益財団法人かながわ国際交流財団 ※Zoom	7 (7)
8月28日	ネパールの離婚と結婚 主催：滞日ネパール人のための情報提供ネットワーク ※Zoom	1 (0)
10月22日	アウトリーチ勉強会：川崎市ふれあい館でのアウトリーチ実践について学ぶ	14 (7)

	講師：鈴木健さん（川崎市ふれあい館）	
1月16日	フォレンジックソーシャルワーク研修（兵庫県社会福祉士会主催） 田中洋子さん（社会福祉士） ※Zoom	1 (0)
1月21日	グループスーパービジョン 講師：山中京子さん（コラボレーション実践研究所長）	13 (8)
1月27日	多言語スタッフ向け公営住宅入居申込書作成セミナー 講師：ラボルテ雅樹（相談員）	8 (8)
2月8日	日本で働く外国人のメンタルヘルスについて考える（東京ソテリア主催） ※Zoom 講師：松本俊彦さん（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部部長）	5 (2)
2月18日	アウトリーチ勉強会：ひきこもりに対するアウトリーチ支援について 金城隆一さん（沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい）	13 (8)
3月1日	社会福祉における外国人支援～分野を横断した支援体制づくりのために（三田市国際交流協会、PHD 協会主催） ※Zoom 吉富志津代さん（多言語センターFACIL） 他	3 (0)
3月18日	相談員・通訳者向け研修会：相談支援のあり方（OFIX 主催） 講師：山中京子さん（コラボレーション実践研究所長） ※Zoom	8 (7)
10月～3月	多言語スタッフ向けPCスキル研修 パソコンジム豊中での受講	5 (5)
<b>合計</b>		109 (69)

#### ◆外国人のための多言語セミナー／一日相談会／交流事業

相談事業に寄せられる相談から課題を抽出し、その内容を取り上げるセミナーを実施し、広く情報提供を図った。また、課題対応として、豊中市等と協働で一日相談会を開催したほか、外国人同士が交流できる機会を創出した。

実施日	テーマ 講師	参加者数（人） （うち外国人）
4月8日	確定申告相談会 和田浩孝さん（ダブルライズ税理士法人）	6 (5)
6月5日	暮らしを守る総合相談会@豊中しごとセンター 豊中市福祉部との共催	13 (12)
9月28日	1日生活相談会@庄内公民館 協会主催	13 (11)
11月28日、 12月18日	老後について考えよう①@ゲストハウス日本宿屋168（11月）、老後について考えよう②@とよなか国際交流センター（12月） 福一由紀さん（関西マネーラボ）	①8(5) ②35(35)
11月19日	ネパール人向け介護の仕事セミナー 協力：ポプラネクスス 講師：サロージ・ラマ（ポプラネクスス、介護福祉士）	12 (12)
12月11日	暮らしを守る総合相談会@豊中しごとセンター 豊中市福祉部との共催	12 (11)
1月22日	外国人親子のための小学校入学準備相談会 講師：教育委員会、豊中市外国人教育推進協議会	22 (13)
2月4日	外国人親子のための入園説明会 講師：子育て支援センターほっぺ職員	16 (15)
2月25日	確定申告相談会 呉幸哲さん（呉税理士事務所）	7 (7)
<b>合計</b>		144 (126)

#### ◆同行支援

機関連携により相談対応を行う際、必要に応じてスタッフが同行サポートを行う。

同行先	回数（回）	同行先	回数（回）
母子福祉支援施設	2	法務局	1

裁判所	1	年金事務所	2
法律事務所	4	豊中市関係施設	8
大阪府教育庁	5	家庭訪問	11
府立高校	3		
合 計			37

#### ◆豊中市社会福祉協議会との連携

実施日	内 容
6月26日	市社協が実施したバザーに運営協力（会場：しょうない和居輪居）
11月26日	「福祉と外国人をつなぐプロジェクト実行委員会」への出席
12月3日	外国人技能実習生と地域住民交流のフットサルへの参加
12月11日～3月	かかしフェスティバルに出展（@豊中あぐりパーク）
3月2日～	日赤豊中市地区事務局（豊中市社会福祉協議会内）「ウクライナ人道危機救援金」募金への協力

※ 上記以外に随時、協働でのケース対応や、通訳派遣を実施。また、生活困窮者向けの食糧品配布など共同で実施した。

#### ◆ネットワークへの参加

大阪出入国在留管理局主催の外国人相談窓口連絡会（7月8日、3月29日。いずれもオンライン開催）に参加した。

#### ◆明日の地域福祉を考える市民のつどいへの参加

豊中市が地域福祉活動の更なる推進のため、これからの地域コミュニティについて市民と一緒に考える機会として開催した「あすの地域福祉を考える市民のつどい」に職員とボランティアが参加した。『コロナ禍における生活変化と未来への提言』をテーマに市民や市職員らと共にグループワークを重ね、グループによる発表を行った。また、当日の様子は豊中市公式YouTube”とよなかチャンネル”にて公開されている。

#### <グループワーク>

実施日	内 容	場 所	参加者数（人）（うち外国人）
12月13日	グループ1 グループワーク①	地域共生センター	1（0）
12月15日	グループ2 グループワーク①	地域共生センター	1（1）
12月20日	グループ2 グループワーク②	地域共生センター	1（1）
12月25日	グループ3 グループワーク①	地域共生センター	1（1）
1月15日	グループ3 グループワーク②	地域共生センター	1（1）
1月17日	グループ1 グループワーク②	地域共生センター	1（0）
2月7日	グループ1 グループワーク③	地域共生センター	1（0）
2月3日	グループ2 グループワーク③	地域共生センター	1（1）
2月14日	事後インタビュー	地域共生センター	2（1）
2月15日	事後インタビュー	地域共生センター	1（1）
合 計			11（7）

#### <発表>

実施日	テーマ	場 所	登壇者数 （うち外国人）
2月13日	コロナ禍における生活変化と未来への提言	地域共生センター	3（2）
合 計			3（2）

#### ◆リコン・アラート（協議離婚問題研究会）の運営

協議離婚制度の手続きの簡便さを背景に、日本人配偶者である夫から勝手に離婚届を出されるという相談ケースが続いたことを踏まえ、関西の外国人支援団体、法学者、弁護士と共に「協議離婚問題研究会（リコン・アラート）」というネットワークを立ち上げ（2014年度）、調査や啓発活動を行っている（当協会が代表事務所）。

2017年度に研究会のウェブサイト及びFacebook ページ（12言語）を立ち上げ、同年に作成した啓発動画&パンフレットを掲載しているが、2021年度も引き続き、周知広報活動を行い、相談対応を行った。また、2月には大阪弁護士会と共に一日離婚電話相談会を開催した。

実施日	内 容	参加者数 (人) (うち外国人)
2月19日 (土) 10時半～16時半	外国人のための一日離婚電話相談会 (相談件数 14 件)	22 (10)
	合 計	22 (10)

[リコン・アラート構成メンバー]

二宮周平さん (立命館大学)、大谷美紀子さん (弁護士、外国人ローヤリングネットワーク代表)、芝池俊輝さん (弁護士、外国人ローヤリングネットワーク)、木村雄二さん (外国人労働者とその家族の権利を守る関西ネットワーク RINK)、村西優季さん (NGO 神戸外国人救援ネット)、いくの学園、京都YWCA・APT、アジア・太平洋人権情報センター (ヒューライツ大阪)、公益財団法人箕面市国際交流協会、カトリック大阪大司教区社会活動センターシナピス、公益財団法人大阪府国際交流財団 (OFIX)

URL : <http://atoms9.wixsite.com/rikon-alert>

#### ◆DV 啓発コーナーの設置運営

センター内に DV 相談の周知のために情報コーナーを設置し、多言語 (9 言語) で情報提供している。

#### ◆「日本語支援グループ・むすびめ」との協働事業 <日本語能力検定試験サポート>

2009 年度～2010 年度文化庁委託事業「多文化共生社会の基盤をつくるための“むすびめ”を生み出す日本語コーディネーター研修(むすびめ事業)」で研修を受けたボランティアが中心となり、2011 年度に「日本語支援グループ・むすびめ」が結成され、月曜日のにはほんご活動事業「もっとももっとつかえるにはほんご」の立ち上げ・初期の運営及び外国人への具体的な仕事や資格につながる支援事業(主に日本語を切り口とした)を協会と共催してきた。

2021 年度も 2011 年から引き続き、就労のための資格取得サポートの一環として、日本語能力検定試験に向けた個別サポートを行った。毎週火曜日の開催 (状況によっては他の曜日でも対応) とし、試験日の 3 か月前から実施した。2021 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響をうけ、対面での活動中止を余儀なくされることもあったが、オンラインでのサポート実施などに切り替えて実施した。

登録学習者数 (人)	7 (前期 3、後期 4) (ボランティア 4)	
サポートのべ回数	27 回 (前期 12 回、後期 15 回)	
サポートのべ時間数	157 時間 (前期 71 時間、後期 86 時間)	
内容	日本語検定試験のためのボランティアによる個別指導 (のべ 12 人)	
実施日	4 月	6 日、13 日、20 日、27 日
	5 月	11 日、18 日、25 日 【オンラインでの実施】
	6 月	1 日、8 日、15 日、22 日、29 日 【一部対面で実施】
	9 月	7 日、10 日、14 日、21 日、28 日 【一部オンラインでの実施】
	10 月	5 日、12 日、14 日、19 日、26 日
	11 月	2 日、9 日、16 日、25 日、30 日

## (2) コミュニティ活動

#### ◆フィリピン人中老年の居場所作り「Filipino Young at Heart's Club (FYAHC)」

2017 年度の大阪コミュニティ財団助成事業「外国人高齢者のための居場所作り調査事業」の調査結果を踏まえ、2018 年度から、今後急速に高齢化を迎えるであろうフィリピン人向けの居場所作りを実施している。(フィリピン人の多言語スタッフが中心となってコーディネートしている。)

例年、開催頻度は毎月 1 回、第 1 日曜日としていたが新型コロナウイルス感染症の影響を受け、定期的な対面活動は実施が困難だった。一方、コロナ禍において一層コミュニティでの集まりを切望する声や、老後についての必要な情報を知りたいという声もあり、感染症対策をした上で小規模なイベントを開催した。

実施日	内容	参加人数 (人) (うち外国人)
6月26日	フェスタフィリピーナ (フィリピン外務省主催のオンラインイベント) に参加	3 (3)
7月3日	ワクチン接種についての相談会 & ズンパ練習	1 (1)



8月1日	ワクチン接種についての相談会	3 (3)
11月28日	外国人向けセミナー 老後について考えよう① ※ 外国人向けセミナーにコミュニティの活動として参加	2 (1)
12月18日	外国人向けセミナー 老後について考えよう② ※ 外国人向けセミナーにコミュニティの活動として参加	22 (21)
12月18日	コミュニティクリスマス会 ※ 外国人向けセミナーのあとに実施	22 (21)
<b>合 計</b>		53 (50)

### (3) 防災事業

2016年度に締結した「災害時多言語支援センター設置に関する協定書」（豊中市）に基づき、2020年2月3日に災害時多言語支援センターを設置し、引き続き、多言語情報発信及び相談業務に当たった。また、台風等の情報に関しても適宜提供するなどし、外国人が地域で安全に過ごせるように取り組んだ。

また、総務省主催の研修への参加のほか、大阪府国際交流財団が主催する会議などに参加した。

実施日	内 容	場 所	参加者数 (人) (うち外国人)
7月27日	第19回おおさか災害支援ネットワーク定例会	Zoom	1 (0)
2月4日	エトレ豊中消防訓練 (※多言語スタッフと参加)	エトレ豊中	19 (8)
2月15日～16日	災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修	自治大学校	1 (0)
3月11日	多言語情報支援センター意見交換会 (主催：大阪府国際交流財団)	Zoom	10 (0)
<b>合 計</b>			31 (8)

#### ◆四国際交流協会の連携について

当協会では大阪府内の国際交流協会とネットワークを作り、情報交換や事業面での連携を進めてきたが、災害発生時に関して言えば、近隣のネットワークはお互いに被災している可能性がある。また、通信機器やオンライン環境の発展により、多言語での情報提供や翻訳作業などは遠方であっても相互に協力できるようになってきていることを踏まえ、遠方の国際交流協会（公益財団法人仙台観光国際協会、公益財団法人武蔵野市国際交流協会、公益財団法人北九州市国際交流協会）との関係づくりを始めた。2021年度は個別にやり取りをすることはあったが、四国際交流協会の間で日程調整及びテーマ設定が進まず、一旦休止状態になっている。

## 2. 子どもサポート事業

### (1) 多文化子ども保育 “にこにこ”

地域に暮らす就学前の外国人の子どもたちが、読み聞かせや自由遊びなどの保育を通して、多様な子どもやおとなと接し、コミュニケーションを取ることで社会生活に慣れるための場づくりを行っている。保護者にとっては子どもと離れて日本語交流活動へ参加したり、自分の時間を持ったりできる場になっている。また、保育の専門知識を持つボランティアへの子育て相談や、幼稚園・保育所のことなど地域の情報を得ることができる場にもなっている。2021年度も新型コロナウイルス感染拡大防止をうけ、活動の中止をしなければならない期間が長くなってしまった。また、再開に向けて、ボランティアと職員がミーティングを重ねたものの、なかなか思うような活動を実施することができず残念だった。

実施曜日	時間	回数	ボランティア 登録者数	参加者数 (人) (うち外国人) ボランティア参加者数 (人)
木曜日	13:30～15:20	10回	4	子ども 29 (29) ボランティア 31
金曜日	10:30～12:00	8回	4	子ども 4 (4) ボランティア 17
<b>合 計</b>				子ども 33 (33) ボランティア 48

## ◆豊中市子ども読書活動連絡会

「豊中市子ども読書活動推進計画」が「こどもすこやか育みプラン・とよなか〜豊中市子育て・子育て行動計画〜」の中に組み入れられ、「子ども読書活動連絡会」が立ち上がって以降、協会では、毎年「おやこでにほんご」のボランティアと職員が「障害のある子どもや外国人の子ども」の読書環境を整備するワーキンググループへ参加し、事業実施の協力を行ってきた。これにより、読書活動において「外国人の視点」が地域課題の一つとして認識されるようになり、図書館との連携という意味でも大きな成果があった。

この動きを受け、協会内でも推進計画を具体的に進めていくために、「外国語絵本コーナー」の設置と8言語による「センター図書案内」を作成し、外国人の子どもが参加する全ての事業で、活動の中に読書推進の取組を盛り込むことに努めている。センター内の図書コーナーには、外国語絵本コーナーもあり、事業横断的な外国人親子の読書推進活動を行っている。また継続して市立図書館にある外国語図書の蔵書を定期的にセンターに巡回配架する取組を行っており、センター利用者が多言語図書にアクセスしやすい環境が作れている。

2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、第2回が延期日程での開催となった。

実施日	内容	場所	参加者数(人) (うち外国人)
6月25日	第1回子ども読書活動連絡会	岡町図書館	1(0)
2月3日	第2回子ども読書活動連絡会	岡町図書館	1(0)

## ◆公民協働子育て支援イベント ～ みんなあつまれわくわくランドへの出展

市が年に一度開催する子育てイベント。例年、市南部及び北部で開催されるイベントに当協会に参加しているが、2021年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催されなかった。

### (2) 子ども母語教室

外国にルーツを持つ子どもが母語や文化を学ぶことを通じて仲間と出会う場づくりを目的に母語教室を月に2回開催した。母語のスタッフは外国にルーツを持つ大学生で、子どもにとってピア(同じ経験をした仲間)サポーターであると同時に、ロールモデルとしての役割を果たした。これまで母語教室では中国語、スペイン語、タイ語、ポルトガル語の四言語の教室を開催していたが、2020年度に引き続き、担い手不足によりスペイン語、ポルトガル語、タイ語が休講となっている。中国語教室の子どもの参加は定着しているが、新型コロナウイルス感染症が拡大して以降は子どもの参加を見合わせている保護者もいる。オンラインでの活動を検討したが参加者が主に小学生であることや活動内容の特性から難しいと判断した。対面活動再開時に感染対策を十分に行うなどして安心して参加してもらえる体制をひきつづき作っていききたい。なお、スペイン語については年度末にスタッフが確保できたため、2022年度4月の再開に向けて準備に着手した。

#### <定例>

実施曜日	時期	時間	回数	参加者数(人) (うち外国人)
第2、4日曜	2021年4月 ～2022年3月	10:00～12:00	17回	子ども46(46)、ボランティア50(50) 合計:96(96)

#### <クラス別>

クラス	年間活動回数	参加者数(人)	合計
中国語	17回	子ども46 ボランティア50	96
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計5回活動休止となった。			合計 96

#### <ボランティア研修>

実施日	内容	講師	参加者数(人) (うち外国人)
9月18日	NPO トッカビ(八尾市)のベトナム語ルーツ語教室の取組に学ぶ	藪田直子さん(ベトナム語教室担当者) 鄭栄鎮さん(副代表理事)	ボランティア 2(2) 担当職員 2(0)
合計			4(2)

### (3) 学習支援・サンプレイス

外国にルーツを持つ子どもを対象に、大学生・大学院生ボランティアによる日本語・学習支援を通じた居場所作りを行った。ボランティアの中には外国にルーツを持つ大学生も数名おり、それにより子どもの抱える悩みやニーズへより細やかで柔軟な対応が可能となった。2021年度も新しいボランティアの参加があり、日本生まれ、育ちの外国にルーツを持つ大学生や留学生のボランティアの割合が増えた。また、ボランティア研修を通して外国にルーツを持つ子どもへの理解を深めた。

2021年度は緊急事態宣言によるとよなか国際交流センターの臨時休館のため4月下旬～6月には活動休止期間を設けた。一方で、活動休止期間にも保護者あてに電話連絡をして子どもたちの様子を伺ったり、オンラインでサンプレイスを開催したりした。また、対面活動の再開後、感染状況が落ち着いている時期には、感染対策をしながら可能な範囲でイベントを行った。参加する子どもたちの数、ボランティアの数ともに2021年度に比べ増加した。

#### <定例>

実施日	時期	時間帯	回数	参加者数(人)(うち外国人)	
第一以外の日曜	2021年4月～ 2022年3月	13:00～15:00	33	子ども	185(184)
				ボランティア	220(80)
合計				405(264)	

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計7回が中止となった。

#### <その他イベント>

実施日	内容	参加者数(人)(うち外国人)	合計参加者数(人)(うち外国人)
8月17日	サンプレ・インテンシブ①	子ども1(1)、ボランティア3(1)	4(2)
8月19日	サンプレ・インテンシブ②	子ども0(0)、ボランティア5(2)	5(2)
8月22日	サンプレ・インテンシブ③	子ども4(4)、ボランティア4(2)	8(6)
合計			17(10)

#### ・ボランティア研修の実施

実施日	内容	講師	参加者数(人)(うち外国人)
8月29日	「外国にルーツを持つ子ども」とは/とよなか国際交流協会が大切にしていること	担当職員	7(2)
9月12日	当事者の経験から学ぶ 多様性・多文化共生	外国にルーツを持つサンプレイスボランティア	8(3)
3月13日	ボランティアに参加して変わったこと	担当職員、サンプレイスボランティア	11(3)
合計			26(8)

### (4) 若者支援

外国にルーツを持つ人の中でも、これまで対象事業の少なかった「若者世代」に対して、2013年度より様々な講座や活動を行ってきた。2013年度から2015年度までの3年間、多様な活動を展開したが、その活動の成果と課題を踏まえ、2016年度からは「わかものたまりば」と「わかもの相談」、日本語学習支援と若者が地域イベントに参加したりする内容を中心にして活動を行ってきた。

2020年度までは自主事業(多文化子どもエンパワメント事業)として助成金を得て実施していたが、2021年度より指定管理事業となり子どもサポート事業の一部として実施した。

#### ①外国にルーツを持つ若者の居場所事業

外国にルーツを持つ若者の居場所事業「若者のたまりば」では外国にルーツを持つ若者の相談員を配置し、外国にルーツを持つ若者が安心していられる居場所作りを行いながら、その中で就労や進学、家族関係、友人関係等の若者が抱える課題や悩みごとを相談できるよう体制を整えた。定例活動では、参加者が外国にルーツを持つ仲間(ピア)と出会い、相互に交流できるような場づくりとして、料理やボードゲームなどの活動を通じた交流を行い、随時ニーズに応じて進学や就労に向けた日本語の支援も行った。

緊急事態宣言によるとよなか国際交流センターの臨時休館のため4月下旬～6月には活動休止期間を設けた。一方で、活動休止期間中にオンラインで「若者のたまりば」を開催し、つながりが途切れないよう取り組んだ。また、感染対策のため開催時間の短縮や飲食を伴う活動の中止等、活動形態を工夫しながら可能な限り対面での活動を継続した。社会体験活動としては、大阪市のコリアタウンへのフィールドワークを実施した。

#### <若者のたまりば>

実施日/期間	2021年4月～2022年3月 第1日曜日を除く毎週日曜日 17時～20時
対象	外国にルーツを持つ若者
場所	とよなか国際交流センター
回数	34回 (※うち2回はオンラインで開催)
内容	若者が集まり、料理やボードゲーム等を通じた交流、居場所作りを行った。
参加者数(人) (うち外国人)	若者 103 (103) 講師 35 (31)

#### <その他イベント>

実施日	内容	場所	参加者数(人) (うち外国人)
7月25日	フィールドワーク@コリアタウン	大阪市 鶴橋周辺	3 (3)
12月26日	年末パーティー	とよなか国際交流センター	6 (6)
合 計			9 (9)

#### ②在日ネパール人の若者の実態調査オンライン報告会

日時	2021年11月6日(土) 13:30～16:00
場所	オンライン (Zoom)
参加者数(人)	73
テーマ	在日ネパール人の若者たち～実態調査から共に考える～
講師	田中雅子さん (滞日ネパール人のための情報提供ネットワーク) 各務真弓さん (NPO法人可児市国際交流協会) ラクシミサブコタさん (調査協力者)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>在日ネパール人の若者の実態調査の報告 (担当職員)</li> <li>ネパール人から日本に来た若者を取り巻く課題 (田中雅子さん)</li> <li>外国人の子どもの高校進学支援から見えたもの (各務真弓さん)</li> </ul>

在日ネパール人の若者の実態調査のオンライン報告会を開催した。在日ネパール人の支援活動に取り組んでいる研究者と岐阜県可児市で長年、若者世代の支援に取り組んでいるNPO法人の方に登壇いただき、支援者間のネットワークづくりや今後の若者世代への支援の取組を考える機会となった。また、この実態調査を含む2020年度までの独立行政法人福祉医療機構の助成事業が高く評価され、独立行政法人福祉医療機構の冊子に掲載されるなどした。

#### ③高校進学のための同行支援

出身国で中学校卒業相当の教育を修了してから来日した若者の高校進学に関する相談対応について、多言語相談サービスと連携しながら、情報提供や大阪府教育庁への同行支援など必要な支援を行った。

#### <同行支援>

実施日	内容	場所	参加者数(人) (うち外国人)
1月13日	府立高校入学者選抜試験にかかわる事前相談	大阪府教育庁	4 (3)
合 計			4 (3)

<その他>

実施日	内 容	場 所	参加職員数 (人)
7月7日	豊中市若者自立支援計画実務担当者会議	生活情報センターくらしかん	1
11月26日	豊中市若者自立支援計画実務担当者会議	生活情報センターくらしかん	1
合 計			2

◆関係機関等との連携

実施日	内 容	場 所	参加職員数 (人)
4月16日	第1回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当者会議	オンライン (Zoom)	2
5月14日	第2回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当者会議	オンライン (Zoom)	2
7月7日	子ども施策推進連絡会議実務担当者会議	豊中市役所	1
7月13日	子ども相談ネットワーク会議	オンライン (Zoom)	1
9月3日	第3回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当者会議	オンライン (Zoom)	2
9月9日	子ども居場所ポータル「いこっと」北中部圏域交流会	野畑図書館	2
10月7日	こども真ん中円卓会議	すてっぷホール	2
10月8日	第4回 豊中市外国人教育推進協議会 担当者会議	とよなか国際交流センター	1
1月19日	こども居場所ポータル「いこっと」中北部圏域交流会	シャレール東豊中集会室	1
1月20日	こども居場所ポータル「いこっと」南部圏域交流会	庄内公民館	1
2月7日	こども居場所ポータル「いこっと」中部圏域交流会	人権平和センター豊中	1
2月18日	第5回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当者会議	オンライン (Zoom)	2
3月4日	こども居場所ポータル「いこっと」南部圏域交流会	島田センター	1
※ 6月4日 豊中市在日外国人教育推進協議会は中止			
合 計			19

<調査協力>

12月10日 ヒューマンライツウォッチ 外国にルーツを持つ子どもの不就学調査への協力

<その他>

書面開催となったもの
こどもの相談支援ネットワーク会議

### 3. 多文化子どもエンパワメント事業

#### (1) 学習日本語「こんぱす」

2010年度に始まった「とよなか子ども日本語教室」から日本語指導者グループ「とよなかJSL」が生まれ、2012年度より、とよなか国際交流協会・とよなかJSL・行政の三者協働事業「とよなか子ども日本語教室を拠点とした学習に必要な日本語力・生活力の保障とそのシステム作りのための事業（「こどもにほんごプロジェクト）」が3か年計画として始まった。2017年度をもって日本語教室の運営を取りやめることになったが、2019年度に教案集出版を記念したシンポジウムを開催したことを契機に、2020年度より新たな子どもの日本語教室となる学習日本語「こんぱす」を立ち上げた（運営主体：とよなかJSL 協力：とよなか国際交流協会）。

2021年度も新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、とよなか国際交流センター休館時や感染拡大時にはオンラインで授業を行った。また、対面での活動が可能な期間には毎週火曜日に教育相談を実施し、日本語について気になる子どもの保護者、教員や子ども等から相談を受入れ、必要に応じて「こんぱす」の通級につなげたり、学校や自宅での支援についてのアドバイスをしたりした。

加えて、1月にボランティア説明会を開催し、新規ボランティアを受入れて育成している。

#### <定例>

実施日	時間帯	回数	参加者数（人）（うち外国人）	
毎週火曜・金曜	17：00～19：00	89回	子ども	358（358）
			ボランティア	609（0）
			合計	967（358）

#### <教育相談>

実施日	時間帯	件数	参加者数（人）（うち外国人）	
毎週火曜	16：00～19：00	4件	相談者	10（7）
			ボランティア	8（0）
			合計	18（7）

#### <ボランティア説明会>

実施日	講師	参加者数（人）（うち外国人）
1月14日 15：00～16：40	ボランティアグループとよなかJSLのメンバー、協会担当職員	8（2）

#### (2) てーげーコミュニケーションズ（多文化エンパワメント・メディアプロジェクト）

2016年度、それまでの多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト「てーげー一部」の活動を、色々な活動のニッチな部分に入り込んだ映像制作やメディア活動を行う集まり「てーげーコミュニケーションズ」として再編成し、それ以来、継続して活動を行っている。参加するボランティアスタッフが全員多忙につき、新たな活動を展開することはできなかった。実質的な活動を行うことが出来なかったものの、今後に向けてDVD作品の増刷を行った。今後の活動の方向性について再検討しつつ、引き続き単発のイベントなど参加できるものには積極的に参加していきたい。加えて、2021年度レシピ本の頒布を目的に開設したオンラインショップでDVDを購入できるようにし、作品をより広く周知してもらえるよう広報活動を精力的に行うことを2022年度の目標としたい。

#### (3) ネットワーク事業への参加

##### 子どもの夢応援ネットワーク

外国にルーツがあるなど、マイノリティ性を持つ子ども・若者の支援に関わっている団体、個人で作られたネットワーク。2017年7月から活動を開始しており、定期的な情報交換、シンポジウムなどを実施している。

定期的な情報交換会などの開催のほか、文部科学省の外国人児童・生徒への教育の担当課との情報・意見交換会、大阪市教育委員会主催の研修会の企画・実施を行うなどした。

<定期的な情報交換>

実施日	4月15日、9月4日、9月30日、1月6日、1月27日、2月25日
-----	-----------------------------------

<シンポジウム>

実施日	参加者数(人) (うち外国人)	開催場所	開催内容
10月12日	7 (1)	とよなか国際交流センター	日本国際交流センターとの意見交換会
10月28日	38 (5)	大阪市立中央図書館	大阪市教委研修会企画及び講師「多文化共生のまちづくり」
11月26日	7 (0)	YOLO Japan	施設訪問、情報交換会
12月10日	14 (0)	Zoom	文部科学省との意見交換会

### Ⅲ. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

#### 1. 小学校外国語体験活動事業（豊中市教育委員会受託事業）

豊中市が総合計画で推進している「共に生きる平和な社会の実現を図る」ために、豊中市市民公益活動条例に基づいて豊中市教育委員会と協働で実施している「豊中市立小学校外国語体験活動」提案公募型事業に選定され、受託した。地域に暮らす外国人（ボランティア）が学校と協働し、地域に根差した社会参加を展開していく可能性を模索することを目指した。

##### <事業内容>

全豊中市立小学校の3年生から6年生を対象に、国際理解教育の一環として様々な国や地域の文化や言語に触れ親しむ体験活動を実施した。その上で、次の3点を柱に据えた「共に学び、創造する心豊かなまちづくり」を推進した。

- ①子どもや教職員に、地域に暮らす異なる言語、価値観、文化を持つ人との豊かな「であい」を提供した。
- ②その「であい」から、もっと知りたい、つながりたいという動機が芽生え、相互理解を促すためのコミュニケーション能力が双方向に向上するよう取り組んだ。
- ③学校に在籍する外国にルーツを持つ子どもたち・外国籍の子どもたちの自尊感情が育まれ、マイノリティの子どもエンパワメントになること、と同時にサポーター自身のエンパワメントにもつながる取組をした。

##### <実施体制>

<ボランティア：50人（20か国・地域）、コーディネーター8人>

2021年度に実施した小学校外国語体験活動の授業の言語数は18言語にのぼった。英語以外の外国語の実施割合は約93%となり、多様な文化や言語を知り体験できる機会を提供できた。また、英語の授業を実施した学校では、英語を第1、第2言語又は生活・学習言語としてきたボランティアが中心となって授業を行った。内容についても英語やその他の言語の言語学習だけにとどまらず、それぞれのルーツの国の文化紹介を織り交ぜた形で授業を進めた。

ボランティアの国籍や年齢、職業、在留資格、来日経緯、滞日歴、日本語の程度は様々であった。

2021年度も外国語体験活動に参加していた外国人ボランティア及び相談サービスの多言語スタッフがコーディネーターとなったことで、ボランティアの課題や悩みにきめ細やかな対応や、相談サービスとの連携を図ることができた。また、外国人ボランティアの希望や個性を把握することで他事業につなげることができ、それぞれ活躍の場を広げることができた。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための学年休業・休校の影響があったものの2021年度は振替授業の実施割合が高かったこともあり、予定の約96%の授業を実施することができた。

2020年度に結成した「教材作成チーム」では、レッスン内容に困った外国人ボランティアにアドバイスできるようなアイデア等をまとめるために月に1回程ミーティングを行った。

##### <実施実績>

活動参加ボランティア数（人）	50
ボランティア活動総時間数	1,112時間
体験した子どもの参加者数（人）	約34,980
ボランティア国籍数	20か国・地域 内訳 中国、韓国、フィリピン、ネパール、タイ、エクアドル、フランス、ベトナム、台湾、ベラルーシ、インドネシア、ペルー、ロシア、ブラジル、エジプト、トルコ、カナダ、オーストラリア、インド、クロアチア



## 2. 国際教育推進事業

### ◆豊中市国際教育推進協議会

文部科学省は2005年8月に「初等中等教育における国際教育推進検討委員会」報告書をまとめた。国際関係や異文化を単に理解するのではなく主体的に行動するための態度や能力の基礎を育成する「国際教育」の必要性を唱え、「国際教育推進プラン」を実施する地域を指定した。豊中市もその一つとして、2008年度までの3か年の事業に取り組んだ。それを引き継ぐ形で推進プロジェクト協議会を作り、豊中市でユネスコスクールを設立、韓国の教員との交流などを行った。2010年度より「豊中市国際教育推進協議会」を立ち上げた。同協議会は2019年度に協議会から連絡会となっている。

#### 《豊中市国際教育推進連絡会の開催について》

・連絡会の開催2回

第1回 9月13日 … 各機関・団体の取組に関する情報交換及び意見交換 ※オンラインでの開催

第2回 3月7日 … 各機関・団体の取組に関する情報交換 ※オンラインでの開催

### ◆帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会

帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会が毎年とよなか国際交流センターにおいて多言語による進路相談会を開催している。例年は参加対象を小学校高学年から中学3年生までとしていたが、感染症対策のため2021年度は中学3年生及び2年生のみを対象としての開催となった。

#### ＜豊能ブロック協議会構成団体＞ 計23団体

大阪府教育庁	大阪府在日外国人教育研究協議会
池田市教育委員会	大阪府立学校在日外国人教育研究協議会
豊中市教育委員会	池田市在日外国人教育研究協議会
箕面市教育委員会	豊中市在日外国人教育推進協議会
能勢町教育委員会	箕面市在日外国人教育研究会
豊能町教育委員会	能勢町在日外国人教育研究協議会
豊能地区進路保障協議会	豊能町在日外国人教育研究協議会
池田市進路保障協議会	豊能地区人権教育研究協議会
豊中市進路保障協議会	(公財)とよなか国際交流協会
箕面市進路保障協議会	(公財)箕面市国際交流協会
豊能郡進路保障協議会	池田市国際交流センター
豊能地区在日外国人教育研究協議会	

#### 豊能ブロック協議会への参加

実施日	内 容	場 所	参加職員数(人)
7月16日	2021年度帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業 第1回豊能ブロック協議会	とよなか国際交流センター	2
8月19日	第2回豊能ブロック協議会	とよなか国際交流センター	2
10月12日	第3回豊能ブロック協議会	とよなか国際交流センター	2
12月17日	第4回豊能ブロック協議会	とよなか国際交流センター	2

#### ＜豊能ブロック 「多言語による進路ガイダンス」＞

実施日時	2021年10月30日(土) 13:00~16:00 〔 13:00~13:45 進路説明会 〔 13:45~14:30 個別相談会
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数(人)	124 内訳 生徒22/保護者20/通訳者18(8言語) 関係者64

#### ◆多文化フェスティバル

国際教育の推進を図るため、多文化フェスティバル（帰国児童生徒、在日コリアン児童生徒・渡日外国人児童生徒など、国際に関わる子どもやその保護者、また国際教育に関心のある先生が、一堂に集い、つながり、交流を深める機会）を例年開催し、2021年度で17回目を迎えた（2019年度より国際教育推進協議会が国際教育推進連絡会となり、豊中市教育委員会後援で開催）。

2021年度は2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止の観点より、これまでのように一般参加を広く呼び掛けるものとはせず、豊中市教育委員会が実施している外国にルーツを持つ子どもの関連事業ならびに当協会の主催の外国にルーツを持つ子どもの事業関係者と参加対象者に絞って開催した。多文化フェスティバル当日は各活動の紹介、インターンシップの留学生による多言語の絵本読み聞かせ、各活動によるブース出展を設け、子ども同士がつながり、交流する場づくりを行った。また、保護者むけブースも設置し、協会事業の紹介の多言語VTRの上映や多言語絵本及び書籍の紹介等を行った。

参加団体	豊中市教育委員会学校教育課人権教育係、豊中市在日外国人教育推進連絡会、とよなか国際交流協会、豊中市こども日本語教室、韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい、子ども母語教室、学習支援「サンプレイス」、インターンシップ生（関西学院大学、大阪大学大学院、甲南女子大学）
開催日	2021年10月24日（日）10時30分～12時00分
場 所	とよなか男女共同参画推進センター すてっぷホール、視聴覚室
参加人数 （人）	54（うち外国28、子ども18）

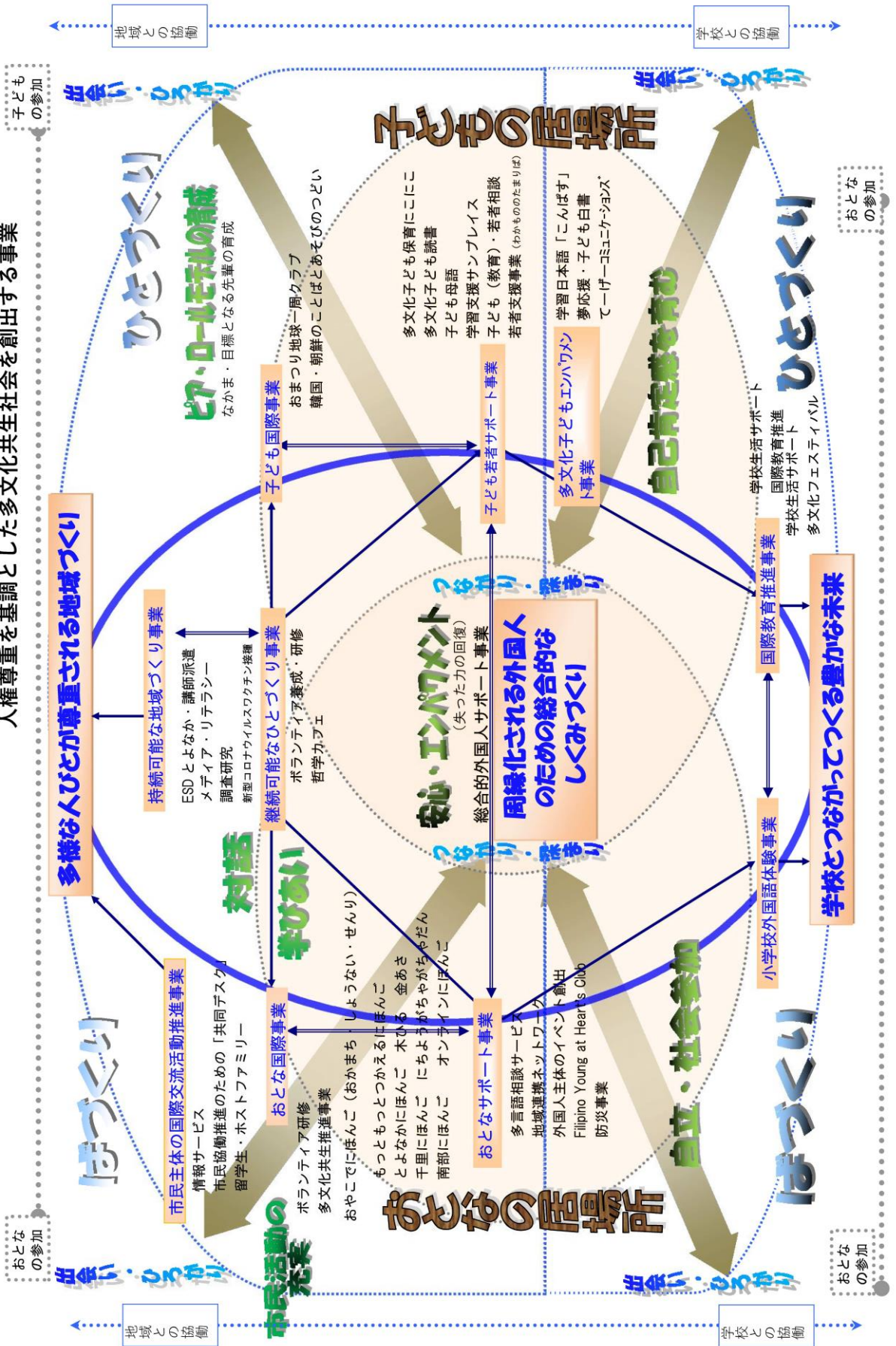
2021年度

# 公益財団法人とよなか国際交流協会事業体系

公益目的事業：地域の市民の主体的な参加による、

人権尊重を基調とした多文化共生社会を創出する事業

○ は協会最重要課題である総合的外国人支援事業の範囲をします。



## IV. 施設管理受託事業

### ◆とよなか国際交流センター貸室業務

国際交流目的利用の市民や一般利用者に対して公平・公正、安全に貸室業務を行った。

年間貸室利用者数（人）	16,085	前年度比	10,587	減
全利用者のうち外国人の利用者数（人）	8,692	前年度比	4,504	減
年間貸室件数（件）	2,550	前年度比	1,125	減
国際交流目的での貸室件数（件）	2,078	全貸室における比率	82	%

### ◆受託事業 とよなか国際交流センター指定管理業務（豊中市からの受託）の施設貸出業務について

#### ①2021年度（2021年4月～2022年3月）月別・部屋別 使用件数・使用率

（4/25～6/20の間、緊急事態宣言発出の為、臨時休館）（11/1～3/31の間、空調設備工事により貸室業務停止）

	開館日数	件数	人数	
			合計	うち外国人
4月	21	290	1,746	936
5月	0	0	0	0
6月	8	97	484	210
7月	27	363	2,303	1,107
8月	27	283	1,991	1,132
9月	25	341	1,982	1,105
10月	27	471	2,913	1,472
11月	26	188	1,171	638
12月	24	171	1,123	612
1月	24	143	857	473
2月	24	86	656	431
3月	26	117	859	576
合計	259	2,550	16,085	8,692

#### ②2021年度（2021年4月～2022年3月）月別・部屋別 使用件数・使用率（単位 上段：件、下段：%）

（4/25～6/20の間、緊急事態宣言発出の為、臨時休館）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	11月～3月		
		会議室1	件数	29	0	8	34	34	27	43	175	
	使用率	46.0%	0.0%	33.3%	42.0%	42.0%	36.0%	53.1%	43.2%			
会議室2A	件数	25	0	8	36	26	32	46	173			
	使用率	39.7%	0.0%	33.3%	44.4%	32.1%	42.7%	56.8%	42.7%			
会議室2B	件数	27	0	8	37	31	35	45	183			
	使用率	42.9%	0.0%	33.3%	45.7%	38.3%	46.7%	55.6%	45.2%			
会議室2C	件数	30	0	8	42	32	38	46	196			
	使用率	47.6%	0.0%	33.3%	51.9%	39.5%	50.7%	56.8%	48.4%			
会議室3	件数	30	0	13	37	27	42	51	200			
	使用率	47.6%	0.0%	54.2%	45.7%	33.3%	56.0%	63.0%	49.4%			
会議室4	件数	44	0	19	53	33	54	67	270			
	使用率	69.8%	0.0%	79.2%	65.4%	40.7%	72.0%	82.7%	66.7%			
会議室5	件数	26	0	9	33	28	22	35	153			
	使用率	41.3%	0.0%	37.5%	40.7%	34.6%	29.3%	43.2%	37.8%			
料理室	件数	28	0	9	35	26	27	50	175			
	使用率	44.4%	0.0%	37.5%	43.2%	32.1%	36.0%	61.7%	43.2%			
音康ルーム	件数	20	0	8	24	23	27	34	136			
	使用率	31.7%	0.0%	33.3%	29.6%	28.4%	36.0%	42.0%	33.6%			
和室	件数	12	0	3	17	17	18	23	90			
	使用率	19.0%	0.0%	12.5%	21.0%	21.0%	24.0%	28.4%	22.2%			
ブレイルーム1	件数	13	0	4	13	1	5	8	44			
	使用率	20.6%	0.0%	16.7%	16.0%	1.2%	6.7%	9.9%	10.9%			
ブレイルーム2A	件数	4	0	0	1	4	8	13	30			
	使用率	6.3%	0.0%	0.0%	1.2%	4.9%	10.7%	16.0%	7.4%			
ブレイルーム2B	件数	2	0	0	1	1	6	10	20			
	使用率	3.2%	0.0%	0.0%	1.2%	1.2%	8.0%	12.3%	4.9%			
総件数		290	0	97	363	283	341	471	1845			
開館日数		21	0	8	27	27	25	27	135			
使用率		35.4%	0.0%	31.1%	34.5%	26.9%	35.0%	44.7%	35.0%			

指定管理事業、協会自主事業及びセンター登録団体への支援としての施設利用・豊中市による施設利用のみ

合計件数:705件

③2021年度(2021年4月～2022年3月) **国際交流目的** 月別・部屋別 会議室使用件数・使用率

(単位 上段:件、下段:%)

(4/25～6/20の間、緊急事態宣言発出の為、臨時休館)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	11月～3月							
会議室1	件数	24	0	8	24	24	18	32	130								
	使用率	38.1%	0.0%	33.3%	29.6%	29.6%	24.0%	39.5%	32.1%								
会議室2A	件数	22	0	6	23	16	21	34	122								
	使用率	34.9%	0.0%	25.0%	28.4%	19.8%	28.0%	42.0%	30.1%	※空調設備工事により貸室業務停止							
会議室2B	件数	25	0	7	25	19	23	33	132								
	使用率	39.7%	0.0%	29.2%	30.9%	23.5%	30.7%	40.7%	32.6%								
会議室2C	件数	26	0	8	28	21	26	32	141								
	使用率	41.3%	0.0%	33.3%	34.6%	25.9%	34.7%	39.5%	34.8%								
会議室3	件数	30	0	13	29	19	33	43	167	指定管理事業、協会自主事業及びセンター登録団体への支援としての施設利用・豊中市による施設利用のみ							
	使用率	47.6%	0.0%	54.2%	35.8%	23.5%	44.0%	53.1%	41.2%								
会議室4	件数	44	0	19	53	31	54	67	268								
	使用率	69.8%	0.0%	79.2%	65.4%	38.3%	72.0%	82.7%	66.2%								
会議室5	件数	24	0	9	30	27	21	34	145								
	使用率	38.1%	0.0%	37.5%	37.0%	33.3%	28.0%	42.0%	35.8%								
料理室	件数	27	0	7	29	26	26	39	154					合計件数:640件			
	使用率	42.9%	0.0%	29.2%	35.8%	32.1%	34.7%	48.1%	38.0%								
音健ルーム	件数	11	0	3	12	15	15	16	72								
	使用率	17.5%	0.0%	12.5%	14.8%	18.5%	20.0%	19.8%	17.8%								
和室	件数	12	0	3	9	9	10	14	57								
	使用率	19.0%	0.0%	12.5%	11.1%	11.1%	13.3%	17.3%	14.1%								
プレイルーム1	件数	12	0	4	11	1	4	6	38								
	使用率	19.0%	0.0%	16.7%	13.6%	1.2%	5.3%	7.4%	9.4%								
プレイルーム2A	件数	1	0	0	0	3	0	3	7								
	使用率	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	3.7%	1.7%								
プレイルーム2B	件数	1	0	0	0	1	0	3	5								
	使用率	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	3.7%	1.2%								
総件数		259	0	87	273	212	251	356	1438								
開館日数		21	0	8	27	27	25	27	135								
使用率		31.6%	0.0%	27.9%	25.9%	20.1%	25.7%	33.8%	27.3%								

④使用料の収入の状況：とよなか国際交流センター使用料

(令和3年(2021年)4月～令和4年(2022年)3月納付分)

計 583,560円

2021年度(2021年4月～2022年3月)安全管理の状況

	①窓の開閉	②パーテーションの開閉事故	③電球取り替え時の事故	④その他の事故	事故があった場合の日時・状況・内容等
4月	無し	無し	無し	無し	
5月	無し	無し	無し	無し	
6月	無し	無し	無し	無し	
7月	無し	無し	無し	無し	
8月	無し	無し	無し	無し	
9月	無し	無し	無し	無し	
10月	無し	無し	無し	無し	
11月	無し	無し	無し	無し	
12月	無し	無し	無し	無し	
1月	無し	無し	無し	無し	
2月	無し	無し	無し	無し	
3月	無し	無し	無し	無し	

## V. その他

### ◆視察受入れ等

	日時	受入れ	参加者数 (人) (うち外国人)
1	7月10日	平安女学院大学	6 (0)
2	7月26日	豊中市立豊島西小学校	20 (0)
3	8月10日	NPO法人 Deep people	40 (3)
4	10月21日	大阪女学院大学	30 (0)
5	11月9日	野村総研	7 (0)
6	11月19日	日本ソーシャルワーク連盟	3 (0)
7	11月30日	大阪大学人間科学部	8 (0)
8	1月21日、25日	豊中市立蛍池小学校	54 (3)
合 計			168 (6)

### ◆学生受入れ (インターン)

2021年度は、3校よりインターンの希望があり、5名のインターンを受入れた。

学校名	受入数 (人) (うち外国人)	時間
大阪大学大学院	3 (2)	80時間
甲南女子大学	2 (0)	35時間
関西大学	1 (0)	120時間
合 計	6 (2)	235時間

### ◆職場体験学習 CUL (カル)

受入れ予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止となった。

### ◆ATOMS ふりかえり会 (事業評価会)

市民参加型の事業評価会を2月26日に開催し、ボランティアや職員が2021年度の成果や課題について発表した (参加者50人)。新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン会議システム (Zoom) にて開催した。

### ◆館内ワールドクイズ (工事期間中のためスペースは半分に)

施設壁面活用の一環として、館内随所に各国の文化に関するクイズ問題を掲示。事務所で回答用紙を受け取ってクイズラリー形式で回答を全て集めると、オリジナルポストカードを1枚プレゼントする企画として常設している。

### ◆さんむんさん、ありがとう会

2021年5月に前常務理事兼事務局長の金相文さんが亡くなられたことを受け、スライドショーの上映と故人とも当協会ともつながりが深い方からの話を聞き、故人に想いを馳せる時間を設けた。また、スライドショーを基にフォトブックを作成した。

実施日	内容
1月29日 (土) 18:30~20:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドショーの上映</li> <li>・さんむんさんとの話</li> </ul> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">                     山崎一人さん (大阪市教育委員会指導部人権・国際理解教育グループ プレクラスコーディネーター)                      榎井縁さん (大阪大学)                      松本康之さん (弁護士)                      宋悟さん (NPO 法人クロススペース)                 </div> <p>参加者数 (人) : 会場32、オンライン51</p>

### ◆子ども服のリサイクルコーナー

地域における子育て支援の一環として、事務所前に子ども服・用品のリサイクルコーナーを常時設置している。不要になった子ども服を持参して自ら陳列してもらい、必要な人は無料で持ち帰ることができるコーナーとして、一般市民、施設利用者から好評を得ている。

### ◆その他会議等の参加・協力

豊中市関係会議(21 団体)

克明小学校区連絡会	大池小学校区連絡会	豊中市こども若者自立支援部会
とよなか市民環境会議	識字・日本語豊中連絡会	地域福祉ネットワーク会議
豊中市地域就労支援センター	豊中こどもの居場所ネットワーク	豊中市子ども・若者支援協議会
豊中市国際教育推進連絡会	豊中市こども施策推進本部連絡会議	豊中市こども相談支援ネットワーク会議
豊中市防災会議	豊中市在日外国人教育推進担当者会議	豊中市DV防止ネットワーク会議
豊中市教職員組合	豊中市外国人市民会議	豊中市子ども読書活動連絡会
豊中市保健師会	豊中市地域福祉活動計画推進委員会	豊中市障害者差別解消支援地域協議会

その他(19 団体)(順不同)

(社福) みとい福祉会	国際交流協会ネットワーク会議おおさか	大阪府自治体国際化推進連絡会議
豊中青年会議所	豊中南ライオンズクラブ	大阪府行政相談窓口ネットワーク会議
大阪大学未来戦略研機構	豊中まつり実行委員会	世界人権宣言豊中連絡会議
多文化社会専門職機構	ダイバーシティ研究所	大阪弁護士会
「ひと・まち・であい 夏まつり」実行委員会	大阪府人権協会	国際交流の会とよなか(TIFA)
豊中南ロータリークラブ	近畿税理士会	大阪出入国在留管理局
大阪府教育庁		

### ◆訪問等による情報収集・意見交換

一般財団法人自治体国際化協会	総務省自治行政局国際室	文部科学省国際教育課
文化庁国語課		

### ◆職員研修

事務局職員の業務推進能力・資質の向上をはかるため、以下研修・勉強会に参加(もしくは主催)した。(協会主催の研修会は㊦印で太字/自己啓発支援については㊦印で太字) 26 回

実施日	内容(主催)
5月23日	オンラインセミナー「外国ルーツの子ども教育最前線」 主催:(特活)カタリバ
6月15日	㊦「京都における外国人高齢者・障害者へのアウトリーチ実践に学ぶ」 講師:村木美都子さん(京都モアネット)他
6月27日	アートコーディネーター育成プログラム 主催:豊中市市民ホール等指定管理者・豊中市
7月4日	アートコーディネーター育成プログラム 主催:豊中市市民ホール等指定管理者・豊中市
7月7日～9日	「多文化共生の実践コース」主催:(公財)全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所
7月13日	ANADO～あなたならどうする?～オンラインお話し交流会 主催:公益財団法人北九州国際交流協会 日本語チーム
8月26日	㊦「佐賀県における子ども・若者へのアウトリーチ実践に学ぶ」 講師:谷口仁史さん(スチューデントサポートフェイス) ※Zoom
8月28日	「ネパール人の離婚と結婚」 主催:滞日ネパール人のための情報提供ネットワーク
8月28日	多文化ソーシャルワークの視点から 異文化「終活」を考えるセミナー 主催:愛知県立大学生涯発達研究所
8月28日	「知っておきたい!高齢者介護～安心して生活するための介護制度～」 主催:公益財団法人かながわ国際交流財団
9月15日～17日	「多文化共生の実践コース」主催:(公財)全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所
9月25日	アートコーディネーター育成プログラム 主催:豊中市市民ホール等指定管理者・豊中市

10月22日	☎「川崎市ふれあい館におけるアウトリーチ実践について」講師：鈴木健（川崎市ふれあい館）
10月23日	アートコーディネーター育成プログラム 主催：豊中市市民ホール等指定管理者・豊中市
10月24日	☎「ボランティアコーディネーション力2級検定」主催：日本ボランティアコーディネーター協会
11月16日	「対人支援の基本について」主催：国際交流ネットワーク大阪
12月9日	「多文化共生の担い手連携促進研修会」 主催：（公財）全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所
12月22日	自衛消防業務（再講習） 主催：一般財団法人大阪府消防振興協会
1月13日	石河久美子教授最終講義 主催：日本福祉大学
1月16日	☎「フォレンジックソーシャルワーク研修」主催：兵庫県社会福祉士会
2月8日	「日本で働く外国人のメンタルヘルスについて考える」 主催：東京ソテリア
2月15日～16日	災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修 主催：総務省自治行政局
2月18日	☎「ひきこもりに対するアウトリーチ支援について」 講師：金城隆一さん（沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい）
3月1日	「社会福祉における外国人支援」 主催：三田市国際交流協会、PHD 協会
3月2日	☎「ハラスメント研修会」講師：三木啓子さん（アトリエエム）
3月7日	☎「おうち性教育はじめます」主催：（特活）フェミニストカウンセリング神戸
<b>子ども・若者支援事業担当者のためのスーパービジョン（スーパーバイザー：吉嶋かおりさん（臨床心理士））</b>	
年間12回（月1回） 対象3名	



## IV. 理事会・評議員会開催状況、組織体制

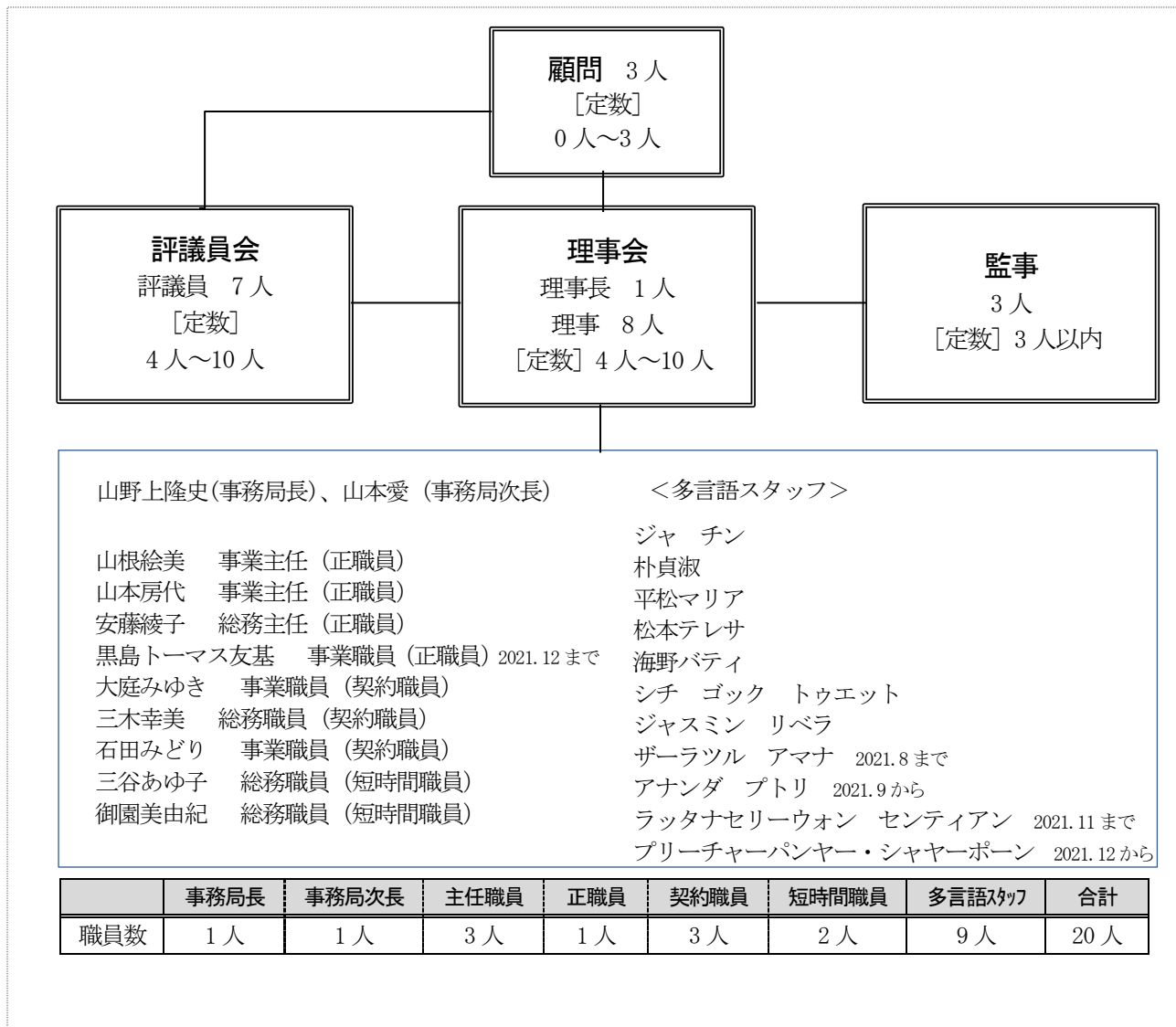
### I. 理事会開催状況

開催日時・場所	案件
第1回理事会 2021年 5月18日(火)15時～ ※Zoomでの開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際国流協会 2020年度事業報告及び計算書類等の承認について 第2号議案 役員について 第3号議案 定時評議員会の実施について <全案件について同日可決> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告
第2回理事会 2021年 11月1日(月)18時～ ※Zoomでの開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2021年度補正予算について 第2号議案 就業規則の変更について 第3号議案 臨時評議員会の実施について 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告
第3回理事会 2022年 3月8日(火)18時～ ※Zoomでの開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際国流協会 2021年度再補正予算について 第2号議案 就業規則の変更について 第3号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2022年度事業計画及び予算について 第4号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて 第5号議案 臨時評議員会の実施について

### II. 評議員会開催状況

開催日時	案件
第1回評議員会 2021年 6月4日(金)18時～ ※Zoomでの開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際国流協会 2020年度事業報告及び計算書類等の承認について 第2号議案 役員について 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況確認
第2回評議員会 2021年 11月16日(金)18時～ ※Zoomでの開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2021年度補正予算の承認について 第2号議案 就業規則の変更について 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況確認
第3回評議員会 2022年 3月22日(火)10時～ ※Zoomでの開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際国流協会 2021年度再補正予算について 第2号議案 就業規則の変更について 第3号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2022年度事業計画及び予算について 第4号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて <全案件について同日可決> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告

### Ⅲ. 2021年組織体制



#### 【役員等名簿】

役職名	名 前	役職名	名 前
理事長	松本 康之	評議員長	園崎 寿子
理 事	浦 耕太郎	評議員	井関 雅子
理 事	榎井 縁	評議員	宋 悟
理 事	金相文 2021.6まで	評議員	大家 幸子
理 事	服部 圭子	評議員	野崎 志帆
理 事	徳弘 博子	評議員	窪 誠
理 事	大島 昭子	評議員	村上 深雪
理 事	栗高 喜秋		
常務理事	山野上 隆史		
監 事	種田 ゆみこ		
監 事	呉 幸 哲		
監 事	栗原 貴子		